

## 平成 25 年度 事業報告

平成 25 年度も昨年度に引き続き、『代表の強化』と『財政の健全化』を課題として取り組んでまいりました。

代表強化の面では、15 人制日本代表は、Tier 1 の代表チームとの 4 回のテストマッチをにおいてウェールズ代表に対して 1 勝を挙げ、欧州遠征におけるテストマッチでも 2 勝を果たすなど特筆すべき成果を上げることができました。また、セブンズにつきましても、男子はセブンズワールドシリーズ 2014-15 大会のコア・チームへの昇格を決め、女子は IRB ワールドシリーズで初めてベスト 8 入りを果たす等着実に成果をあげて参りました。

しかしながら、財務面では今年度も大幅な赤字に至りました。

要因としては、①試合収支の未達 ②日本代表予算の超過 ③RWC2019 組織委員会への資金提供があげられます。

試合収支においては、オールブラックス戦で当初の予想を上回る収益を挙げたものの、ウェールズ戦及び東京セブンズでの収入未達と経費オーバー、並びに、トップリーグの収入未達による影響が大であり、予算において想定した収入を得ることができませんでした。

また、15 人制日本代表、7 人制日本代表男女の強化費用の増大が予算を大きく上回る支出となり、RWC2019 組織委員会への寄付も諸般の事情から約 4 千万円の予算超過となって、収支悪化の大きな要因となりました。

財務健全化に取り組んできたにもかかわらず、25 年度が大幅な赤字となってしまったことを厳しく受け止め、本年度は新たな収入源の確保も含めた収入拡大に邁進するとともに経費削減に最大限、取り組む所存であります。

## 25年度 実施事業

### 国内大会関係

- 第54回 YC&AC JAPAN SEVENS  
4月7日(日) 場所:横浜 YC&AC  
優勝:流通経済大学
  - 第14回 全国高等学校選抜大会  
3月30日(土)~4月7日(土)場所:熊谷  
優勝:大阪桐蔭高校(初)
  - 第2回全国高等学校選抜女子セブンズラグビー大会  
4月5日(金) 場所:熊谷  
優勝(カップ):石見智翠高校
  - ジャパン・セブンズ 2013 高校の部  
4月13日(土) 場所:東京 江戸川陸上競技場  
優勝(カップ):九州選抜
  - セブンズ フェスティバル 2013 in TOKYO  
5月26日(日) 場所:秩父宮  
優勝:リコーブラックラムズ
  - 第9回全国高等学校合同チーム大会  
8月2日(金)~4日(日) 場所:菅平高原  
U17(カップ):九州  
U18(カップ):九州
  - 第3回全国高等学校女子7人制ラグビー大会  
8月2日(金)~5日(月)場所:菅平高原  
(カップ):関東
  - 第4回全国中学校大会(中学校の部・スクール部)  
9月14日(土)~16日(月) 場所:水戸  
第1ブロック:茗溪学園中学校  
天理中学校  
第2ブロック:芦屋ラグビースクール  
長崎ラグビースクール  
女子エキシビジョン  
U15 関東女子選抜  
U15 九州女子選抜  
U15 兵庫県女子選抜
  - 第68回 国民体育大会(日本体育協会主催)  
9月29日(日)~10月3日(木)  
場所:東京都武蔵野市(成年)江戸川区(少年)  
優勝(成年男子):東京都  
優勝(少年男子):長崎県
  - ジャパンラグビー トップリーグ 2013-2014  
<リーグ戦>  
ファーストステージ:8月30日(金)~10月27日(日)  
セカンドステージ:11月30日(土)~平成26年1月19日(日)  
北海道・東北・関東・東海・北陸・関西・中国・四国・九州  
1. パナソニック 9. クボタ  
2. サントリー 10. 近鉄  
3. 神戸製鋼 11. リコー  
4. 東芝 12. 豊田自動織機  
5. ヤマハ発動機 13. NTTコム  
6. トヨタ自動車 14. コカ・コーラウエスト  
7. キヤノン 15. NTTドコモ  
8. 日本電気 16. 九州電力(※)
- (※)九州電力は降格、サニックスが昇格する。  
<プレーオフトーナメント>  
・セミファイナル 平成26年2月1日(土) 秩父宮  
パナソニック(55-15)東芝  
2月2日(日) 秩父宮  
神戸製鋼(19-27)サントリー  
・ファイナル 平成26年2月11日(火) 秩父宮  
パナソニック(45-22)サントリー  
<入替戦>  
平成26年2月8日 レベルファイブ  
コカ・コーラ(22-17)三菱重工  
2月15日(土) 花園  
NTTドコモ(41-29)ホンダ  
2月22日(土) 熊谷  
NTTコム(59-7)横河電機  
コカ・コーラウエスト、NTTドコモ、NTTコムは残留
- 第26回 女子ラグビー交流大会(合同)  
11月23日(土) 場所:東京 江戸川陸上競技場  
優勝:日体大
  - 第50回 全国大学選手権大会  
準決勝 平成26年1月2日(木) 場所:国立競技場  
早稲田(29-11)筑波  
帝京(45-14)慶応  
決勝 平成26年1月12日(日) 場所:国立競技場  
帝京(41-34)早稲田
  - 第93回 全国高等学校大会  
12月27日(金)~平成26年1月7日(火)場所:花園  
準決勝 1月5日(日)  
東福岡(12-27)東海大仰星  
大阪桐蔭(0-42)桐蔭学園  
決勝 1月7日(火)  
東海大仰星(19-14)桐蔭学園
  - 第6回 U18 合同チーム東西対抗  
平成26年1月7日(火) 場所:花園  
西軍(31-0)東軍
  - 第21回 全国クラブ大会  
決勝 平成26年3月2日(日)  
名古屋RC (19-38)北海道バーバリアンズ
  - 第12回東西学生クラブ交流会  
12月22日(日) 場所:熊谷  
RKU竜ヶ崎(46-11)関西学院大上ヶ原
  - 第19回 全国ジュニアラグビー大会  
12月29日(日)~31日(火) 場所:花園  
第1ブロック  
大阪府中学校選抜(7-10)福岡県選抜  
第2ブロック  
京都府中学生選抜(15-7)茨城県中学選抜
  - 第64回 全国地区対抗大学大会  
平成26年1月2日、4日、6日 場所:瑞穂  
決勝  
東京学芸大(21-12)日本文理大
  - 第44回 全国高等専門学校大会  
平成26年1月9日 兵庫県  
奈良工業高専(0-5)仙台高専名取

20. 第51回 日本選手権大会  
 1回戦 2月16日(日) 場所:秩父宮・花園  
 2回戦 2月23日(日) 場所:秩父宮  
 準決勝 3月1日(土) 場所:駒沢・花園  
 サントリー(24-25) 東芝  
 神戸製鋼(5-46) パナソニック  
 決勝 3月9日(日) 場所:国立  
 東芝(21-30) パナソニック
21. 第10回 全国小学生ラグビー選手権大会  
 決勝トーナメント 3月8日(土) 9日(日)  
 (カップ) 横浜川崎小学校連合  
 (プレート) 水戸市立梅ヶ丘小学校  
 (ボウル) 臼杵市立市浜小学校  
 (シールド) 大東ユニディーズ
22. IRB セブンズワールドシリーズ 東京大会  
 平成26年3月22日(土) 23日(日) 秩父宮  
 優勝  
 (カップ) フィジー(33-26) 南アフリカ  
 (プレート) オーストラリア(17-12) アメリカ  
 (ボウル) ウェールズ(28-21) スコットランド  
 (プレート) サモア(0-26) アルゼンチン

ボウル準決勝1  
 ウェールズ(24-19) 日本

## 国際大会・海外遠征関係

< 高等学校関係 >

1. サニックス 2013 ワールドユース交流大会  
 4月28日(日)~5月5日(日)  
 場所:福岡 宗像市 グローバルアリーナ  
 優勝 セントケンティカレッジ  
 準優勝 ハートフリーカレッジ  
 5位 御所実業  
 6位 東福岡高校  
 7位 東海大仰星
2. 第21回 日・韓・中 ジュニア交流競技大会  
 8月24日~27日 場所:中国  
 U17 日本(69-0) 維坊市選抜  
 U17 日本(68-7) U18 韓国  
 U17 日本(47-6) U18 中国
3. 高校日本代表・海外遠征  
 平成26年3月9日~22日 イタリア・フランス遠征  
 日本(22-34) U19 イタリア代表  
 日本(28-29) U19 イタリア代表  
 日本(14-61) U19 フランス代表
- < 女子15人制日本代表 >
4. 女子15人制・RWC アジア地区予選  
 9月7日(土) カザフスタン  
 決勝 日本(23-25) カザフスタン
- < 女子7人制日本代表 >
5. RWC7人制 場所:ロシア 6月28日(金)~30日(日)  
 ボウル準々決勝  
 日本(14-19) オランダ

6. ユニバーシアード場所:ロシア  
 7月14日(日)~17日(水)  
 9/10位決定戦  
 日本(10-5) アメリカ
7. ARFU女子セブンズ 場所:タイ  
 9月20日~21日  
 カップ決勝  
 日本(10-14) 中国
8. アジアパシフィックセブンズ 場所:上海  
 10月26日~27日  
 カップ決勝  
 日本(10-29) 中国
9. ARFU女子セブンズ 場所:インド  
 11月9日~10日  
 決勝  
 日本(19-14) 中国
10. IRB女子ワールドシリーズ 場所:アメリカ  
 2月15日~16日  
 7/8位決定戦  
 日本(12-19) イングランド
11. IRB女子ワールドシリーズ 場所:ブラジル  
 2月21日~22日  
 7/8位決定戦  
 日本(13-5) オランダ
12. 香港女子セブンズ 場所:香港  
 3月28日  
 3/4位決定戦  
 日本(10-28) 南アフリカ
- < 男子7人制日本代表 >
13. ワールドカップ・セブンズ 場所:ロシア  
 6月28日~30日  
 ボウル決勝  
 日本(5-29) ロシア
14. ニバーシアード大会 場所:ロシア  
 7月14日~17日  
 プレート決勝  
 日本(10-19) ベルギー
15. ARFUアジアセブンズシリーズ 場所:マレーシア  
 8月31日~9月1日  
 カップ決勝  
 日本(14-10) 香港
16. ARFUアジアセブンズシリーズ 場所:タイ  
 9月21日~22日  
 カップ決勝  
 日本(17-12) 香港
17. ARFUアジアセブンズシリーズ 場所:インド  
 10月12日~13日  
 カップ決勝  
 日本(14-24) 香港
18. ARFUアジアセブンズシリーズ 場所:シンガポール  
 11月9日~10日  
 カップ決勝  
 日本(24-19) 香港

- 19.セブンズワールドシリーズ 場所:東京  
3月22日～23日  
ボウル準決勝  
日本(19-24)ウェールズ
- 20.セブンズワールドシリーズ 場所:香港  
3月28日～30日  
決勝  
日本(26-5)イタリヤ  
<U18男女7人制日本代表>
- 21.ユースオリンピック 場所:中国  
8月17日～20日  
(男子)3位決定戦  
日本(33-7)台湾  
(女子)決勝  
日本(28-14)中国  
  
<U20日本代表>
- 22.ジュニアワールドトロフィー2013 チリ大会  
5月28日～6月9日  
3位決定戦  
日本(35-38)チリ  
<Jrジャパン>
- 23.IRBパシフィックラグビーカップ 場所:オーストラリア  
3月1日～18日  
グループA最下位  
  
<15人制日本代表>
- 24.HSBC アジア5ネーションズカップ  
4月20日(土) 場所:福岡  
日本(121-0)フィリピン  
4月27日(土) 場所:香港
- 日本(38-0)香港  
5月4日(土) 場所:秩父宮  
日本(64-5)韓国  
5月10日(金) 場所:ドバイ  
日本(93-3)UAE
- 25.IRB パシフィック・ネーションズカップ 2013  
5月25日(土) 場所:横浜 ニッパツ三ツ沢  
日本(12-27)トンガ  
6月1日(土) 場所:フィジー ラウトカ  
日本(8-22)トンガ  
6月19日(水) 場所:名古屋 瑞穂  
日本(16-13)カナダ  
6月23日(日) 場所:東京 秩父宮  
日本(38-20)アメリカ
- 26.リポビタンDチャレンジ 2013  
6月8日(土) 場所:大阪 花園  
日本(18-22)ウェールズ  
6月15日(土) 場所:東京 秩父宮  
日本(23-8)ウェールズ
- 27.リポビタンDチャレンジカップ 2013  
11月2日(土) 場所:秩父宮  
日本(6-54)ニュージーランド
- 28.リポビタンDツアー2013  
11月9日(土) 場所:スコットランド  
日本(17-42)スコットランド  
11月12日(火) 場所:イングランド  
日本X V (5-40)グロスター  
11月15日(金) 場所:ウェールズ  
日本(40-13)ロシア  
11月23日(土) 場所:スペイン  
日本(40-7)スペイン

## 各委員会関係

各委員会・各部門は次の事業を実施した。

### 1. 総務委員会

「JRFU基金」の開始

日本代表の強化、ラグビーの普及と育成、2019 成功の為という目的を掲げた寄付の受け入れ制度作りを開始し、他のスポーツ団体に先駆けたウェブによる申し込みとカード決裁による寄付制度を開始した。

### 2. 財務委員会

1. 平成25年度予算の執行状況を主要部門別に確認実施。  
加えて、部門固有の問題点について対応検討。
2. 平成26年度予算策定において、主要部門別にヒアリング実施。  
最終予算確定のベース情報を事務局に提示。

### 3. 国際委員会

◎重点目標

<JRFU 戦略計画に基づく国際戦略の遂行>

1. 国際戦略の策定と実行
    - ①国際情報の共有と方針の確認を実施。
    - ②代表強化及びラグビーマーケット拡大に寄与する国際試合のマッチメイクを交渉。結果として10月のオールブラックス戦の実現と成功に寄与
    - ③スコットランド協会の包括的な連携協定締結を実現
  2. RWC2019 へ向けた国際大会運営力と海外チーム受入れノウハウの蓄積と向上
    - ①15人制8各国の国際試合開催に当たり、スムーズなチーム受入れと試合運営を実現
    - ②東京セブンズの参加国15チームの受け入れとスムーズな大会運営を実現
    - ③東京セブンズ開催に当たり、一般ボランティアを公募、語学サポートを中心に活用した。
  3. 日本の国際的ステータス向上の為の活動
    - ①IRB 及び ARFU の各種会議へ出席すると同時に、積極的な発信を行った。
    - ②IRB 理事会及び EXCO 開催に当たり、出席者への各種サポートを実施
  4. アジアでのリーダーシップを取るための(アジアンスクラムクラムプロジェクトと中心とした)各種活動の展開
    - ①JICA との連携事業及び、各種派遣事業などのサポートを実施
    - ②ARFU 会議での同プロジェクトアピールの機会を確保し実施した。
  5. 海外からの情報収集/発信の強化/積極的なコミュニケーション/ネットワーク作り
    - ①定期的な国際情報のとりまとめと発信を実施
  6. RWC2019 組織委員会との連携
    - ①開催地募集要項の作成等、各種検討会への参加とアドバイスを実施
- <セブンズオリンピック採用に伴う対応>
1. JOC とのコミュニケーション及びネットワークづくり
  2. 他競技国際担当者との情報交換・交流等
  3. ロンドンオリンピックをはじめとしたオリンピック関連情報収集及び分析

## 4. 広報・プロモーション委員会

### I. MEDIA RELATIONS

#### 1. スポーツメディア

##### ① 情報発信

記者会見などの取材機会を積極的に設定し、メディア露出拡大につなげた。

##### ② 競技時メディアオペレーション

##### ③ ラグビー担当記者との健全・良好・密接な関係構築

#### 2. 非スポーツメディア

##### ① 情報番組・バラエティーなどでのラグビー露出促進

##### ② ファッション誌・ライフスタイル誌などへのラグビー記事掲載促進

##### ③ 地方メディア(地方紙・ミニコミ誌など)などへのラグビー記事掲載促進

### II. PUBLIC RELATIONS

#### 1. 基礎資料整備

### III. OWNED MEDIA/SOCIAL MEDIA

#### 1. デジタルメディア(Web・SNS)

##### ① 協会公式サイトでの情報発信とサイト管理・運営

協会公式サイトへのアクセス数(月平均)の比較(2012年度→2013年度)

● 「日本協会」ページ	1,486,409→1,839,913 (+124%)
● 「日本代表」ページ	300,756→ 512,437 (+170%)
● 「セブンズ」ページ	132,609→ 193,252 (+146%)

##### ② SNS (facebook、Twitter)での情報発信

facebook ページのファン数の推移(2013年4月1日→2014年3月31日)

● 「日本協会」ページ	11,342→38,658 (+341%)
● 「日本代表」ページ	3,499→13,602 (+389%)

Twitter アカウントのフォロワー数の推移(2013年4月1日→2014年3月31日)

● @JRFUMedia	1,800→ 8,232 (+457%)
--------------	----------------------

#### 2. 機関誌

☆ 内容の充実と精査

### IV. CONTENTS

#### 1. 記事・写真・ビデオ

メディアに頼らずにファンに情報提供できる記事・写真の確保。競技団体ならではの独自コンテンツの開拓

### V. COMMUNICATIONS STRATEGY PLANNING

#### 1. 広報戦略の企画・立案

##### ① 短期戦略の企画・立案

##### ② 中・長期戦略の企画・立案

#### 2. 事務局各部門への支援

##### ① 代表強化部

##### ② マーケティング・セールス部

##### ③ 普及・育成部

##### ④ 理事会

##### ⑤ その他

#### 3. 危機管理

##### ① 危機管理広報対応

##### ② 各カテゴリー代表へのリスクマネジメント講習

#### 4. ラグビーワールドカップ2019組織委員会への広報支援

##### ① 組織委員会の情報発信への支援

##### ② 開催候補都市の地元メディアへの働きかけにおける支援

##### ③ IRB/RWCL、TOKYO2020 などとの連携

## 5. マーケティング・セールス委員会

### 1. マーケティング収入拡大への取り組み

#### ①日本代表関連

新たに背中スポンサーを開発、女子代表に太陽生命保険が決定、男子はセールス中。また代表サプライヤーに明治が決定した。

#### ②既存大会関連(横断幕スポンサーパッケージ)

AIG が新たにスポンサーに加わった。AIG とは協賛に伴いラグビーツアー企画も新たにスタートした。

#### ③既存大会関連(東京セブンズ)

セブンズワールドシリーズの大会として東京セブンズ 2014 を実施。(今回で3回目)サントリー、キヤノン他、14社の協賛を得た。

#### ④その他の大会関連

##### ・リポビタンD チャレンジ2013

大正製薬の冠大会としてウェールズ戦を6月8日、15日、花園、秩父宮ラグビー場にて実施。また11月2日、ニュージーランド代表(オールブラックス)戦がリポビタンD チャレンジカップ 2013として秩父宮ラグビー場で行われた。近年にない協賛金額を獲得できた。

##### ・サントリーカップ全国小学生ラグビー選手権大会

第10回という節目の大会として実施予選。認知も高まり安定した大会と育ってきた。

##### ・太陽生命カップ 2013 第4回全国中学生大会ラグビーフットボール大会

水戸市を始めた地元関係者の協力の元、協賛社露出拡大を図ると共に、大会価値拡大と参加の拡大を図った。

##### ・新規大会

高校7人制の全国大会として「アシックスカップ」として2014年7月菅平で行われることが決定。冠協賛社としてアシックス、サブスポンサーとして明治、後援読売新聞が決定した。

#### ⑤放送権関連

・ウェールズ戦2試合、ニュージーランド戦で日本テレビの放送を実現。NHKと大学選手権、日本選手権を中心に契約を更新して実施した。

・東京セブンズにおいてホストブロード局としてジェイスポーツ、地上波放送を昨年に引き続きTBSで実現した。

・その他大学対抗戦やトップリーグでテレビ神奈川と始めたローカル局の放送実現にも注力するとともに放送権の2次販売金の分配、映像2次使用料の徴収などにも取り組んだ。

### 2. ラグビーコンテンツ価値向上への取り組み

・女子日本代表の愛称募集キャンペーンを前年度2月より行い、6月に「サクラセブンズ・サクラフィフティーン」と決定・発表、7人制ワールドカップに向けての盛り上げを図った。

今後女子日本代表の活躍とともに認知が上がりマーチャンダイジングの展開なども検討していく予定。

・2012年10月よりスタートしたBS朝日による初のラグビーニュース番組「ラグビーウィークリー」企画に全面協力。引き続きラグビー人気復活・拡大に向けての展開を図った。

・昨年度よりトップリーグホームページにアフィリエイトビジネスとして広告付きラグビーハイライト映像を配信。手軽にラグビー映像を楽しんでもらえる機会の提供と課金収入獲得に引き続き取り組んだ。

### 3. セールス体制の強化への取り組み

・電通との連携を強化、情報共有と新たな企画開発・セールスに一体となって取り組んだ。

・協会内事業部門との連携を密にし、事務局トータルのパワーアップによるビジネス拡大・充実に取り組んだ。

## 6. 競技運営委員会

### 競技運営運営、TL事業

1. 日本代表戦、日本選手権、大学選手権等の日本協会主催試合およびトップリーグ事業を実施し以下の結果を残した。また、セブンズワールドシリーズ TOKYO SEVENS2014を実施した。

観客数(主な事業) 611,038人(目標比89%前年比108%)

収益(主な事業) 200,632円千円(目標比59.8%、前年比873%)

\* 主な事業の観客数増減は以下の通り

	平成 24年度	平成 25年度	対前年比
トップリーグ	362,067 人(98 試合、73 開催)	365,491人(121 試合、85 開催)	+3,424 人 101%
大学選手権	82,218 人(30 試合、18 開催)	91,148人(30 試合、17 開催)	+8,930 人 110%
日本選手権	40,901 人(9 試合、6 開催)	46,585人(9 試合、6 開催)	+5,684 人 113%
日本代表戦	41,458 人(7 開催)	91,278人(8 開催)	+49,820 人 220%
TOKYO SEVENS	37,683 人(2 大会)	16,536 人(1 大会)	△21,147 人 43%
計	564,327 人	611,038人	+46,711 人 108%

\* 主な事業の収益 (千円)

	収益額(実績)	予算差
トップリーグ	79, 267	△68, 232
大学選手権	45, 702	△14, 298
日本選手権	38, 432	△4, 567
日本代表戦	41, 100	△8, 899
TOKYO SEVENS	△3, 869	△38, 869
計	200, 632	△134, 865

## 2. 国内大会

予定した日本協会主催の大会および新方式でのトップリーグ事業を実施した。

## 3. 国際大会

- ・ A5N2試合、PNC5試合(内日本戦3試合)、リポビタン D チャレンジ3試合、計 10 試合を実施。
- ・HSBC セブンズワールドシリーズ TOKYOSEVENS2014大会を実施した

## 4. メンバーズクラブ

メンバーズ会員およびモバイル会員の拡大を実施

両会員数とも、一万人を越えた

メンバーズ 10, 096人 (前年度 +1, 676人)

モバイル 10, 678人 (前年度 +1, 515人)

## 1. 国体部門

- 平成 26 年以後開催が予定されている各県ラグビー協会との打ち合わせ。  
長崎(平 26)、和歌山(平 27)、岩手(平 28)、愛媛(平 29)、福井(平 30)
- 競技会場の視察:  
茨城県(平成 31 年度開催予定)  
期日:平成 25 年 10 月 16 日(水)  
会場:茨城県水戸市
- 第 68 回国体(東京都)組み合わせ抽選会  
期日:平成 25 年 9 月 7 日(日)13 時～  
会場: ジャパンクラブ
- 第 68 回国体(東京都)への参加  
大会期日: 平成 25 年 9 月 28 日(土)～3 日(木)  
会場: 江戸川区陸上行儀上(少年男子)  
武蔵野市営競技場 (成年男子)  
優勝: 総合 :東京都  
成年男子 :東京都  
少年男子 :東京都



## 2. 社会人部門

### 1. 第54回 YC&AC JAPAN SEVENS

日 程：会場:4月7日(日) 横浜 YC&AC グランド

出 場：16チーム (大学13、クラブ3)

チャンピオンシップ優勝 流通経済大学

決勝 流通経済大学 51-17 東海大学

コンソレーション優勝 タマリバ

決勝 タマリバ 19-17 拓殖大学

### 2. トップイースト / トップウエスト / トップキュウシュウ等、三地域と連携し諸施策を実施する。

・「トップチャレンジ1シリーズ」出場チーム

トップイースト 三菱重工相模原

トップウエスト A ホンダ

トップキュウシュウ A 福岡サンニクス

トップチャレンジ2 -1位 横河武蔵野

\*1位の福岡サンニクスが自動昇格。他の3チームは入れ替え戦で敗退し残留。

### 3. スポーツ祭東京2013 第68回 国民体育大会【東京都開催:東京都、武蔵野市(成年男子の部)、江戸川区(少年男子の部)、東京都ラグビー協会】への協力を行う。今回より「成年男子の部」は15人制(8チーム)から7人制(16チーム)に移行し2日間の競技日程となった。

## 3. クラブ部門

### 1. 第22回(2014年度)全国クラブ大会の参加方法・参加チーム数を決定。

全国を9各ブロックに分け、各ブロックから1チーム代表を選出。

9ブロック内訳(北海道・東北・首都圏・北関東甲信越・東海北陸・近畿・中国四国・九州北・九州南)

また、関東協会1チーム・関西協会2チーム・九州協会1チーム、計4チームの推薦チームが出場。

合計13チームによって実施。

### 2. クラブ大会の開催

#### ①第21回全国クラブ大会

会場:花園第2グラウンド、宝ヶ池球技場、熊谷ラグビー場、韃ヶ谷陸上競技場

参加数:15チーム

・1回戦:2013年12月8日

・2回戦:2013年1月12日・1月19日

・準決勝:2014年2月16日

・決勝:2014年3月2日

優勝チーム・北海道バーバリアンズ

#### ②学生クラブ東西交流フェスティバルIN菅平2013

・8月30日(金)~9月1日(日) 場所 :菅平サニアパーク

・参加数:22チーム

#### ③第12回東西学生クラブ対抗試合

・12月22日 熊谷ラグビー場

・関東ー関西の学生クラブ大会のそれぞれの優勝チーム、RKU龍ヶ崎(関東)・関西学院大上ヶ原(関西)で行った。

RKU龍ヶ崎 46対13 関西学院大上ヶ原

#### ④第9回クラブユース交流試合(兼:クラブユースU-19)

・2014年3月23日 福岡県ココ・コーラウエスト ジャパングランド

福岡ユース 対 シックス(兵庫)

## 7. トップリーグ委員会

- 14チームから16チームへ2チーム増やしリーグ運営を実施。また、リーグ方式も新たに2ステージ制を導入  
ファーストステージ、セカンドステージ、プレーオフを通じ接戦の試合が前シーズンより17試合増え(40試合)  
前年比6%増の結果であり、競技力向上は図れた。

2. 2013 年度集客目標45万人⇒結果 365,491人（目標比81%、前年比101%）

一会場平均	4,300人	
最多入場者数	10,318人 セカンドステージ 3 節@秩父宮 サントリー vs パナソニック	
試合数	リーグ戦	112 試合
	ワイルドカードトーナメント	6 試合
	プレイオフトーナメント	3 試合
	計	121 試合
開催都道府県数	31 都道府県	
開催会場数	40 会場	

3. テレビ放送/広報活動

- TV 放送実績(一部ラジオ放送含む)

リーグ戦	83
プレイオフトーナメント	4
ワイルドカードトーナメント	2
国内総計	89(前年+9)

- 海外 TV 放送実績(ニュージーランド SKY NZ)

リーグ戦	14
プレーオフ・ワイルドカード	5
海外総計	19(前年度▲15)

- 記者会見実績

2013.8.26	プレスカンファレンス @日本ラグビー協会/秩父宮	41社89名
2014.1.22	プレーオフ・トーナメント開催記者会見 @日本ラグビー協会	31社46名
2014.2.12	年間表彰式 @明治記念館	27社50名

- 公式ホームページ アクセス数

総アクセス数	5,035,770(前年比151%)
総ユニークアクセス数	1,595,204(前年比119%)
総ニュース更新数	364(前年比104%)

4. FOR ALL活動

- FOR ALL グリーティングタイム  
試合終了後に試合出場選手と握手やサイン、写真撮影などのコミュニケーションイベントを実施
- 東日本大震災復興支援活動  
各チーム、選手が被災地を訪問し、ボランティア活動やラグビークリニックなど実施。  
また、スポーツこころのプロジェクト活動へ講師として参加。
- 試合環境の創出  
交流試合の場を提供することを目的に「トップリーグFOR ALLミニ・フレンドリーマッチ」を開催。
- FOR ALL 未来のトップリーガーへのプログラム  
トップリーグの公式戦で使用したラグビーボールを高校生以下のラグビーチームへ進呈した。
- 子供たちへのラグビー指導  
タグラグビー教室の開催や学校訪問のラグビー指導を行った。  
また、AIG Tag Rugby Tour を全国14会場で実施した。
- 港区提携プログラム(第3節 9月14日)  
港区在住・在勤の方を対象に招待イベントを実施。
- TRY FOR GREEN  
トライ数に応じてチームと日本協会の双方が募金を実施。  
北海道網走市の森林保全活動に、1,550,000 円を寄付。
- ラガールプロジェクト  
多くの女性に気軽にご来場頂くため、ネイル付き観戦、フットマッサージ付き観戦など優しいサービスを展開。  
また、初開催(和歌山、山口、鳥取)の3会場で女性の観戦を無料にする「ラ・ガールデー」を開催した。
- スポーツフォトグラファー体験プログラム

プロスポーツカメラマンを目指す学生に育成の場として、秩父宮ラグビー場全開催試合で撮影環境を提供。

- ・ 企業スポーツのトップモデルとして新人選手60名を対象に新人研修会を開催と、「TOP LEAGUER'S GUIDE」を全選手およびスタッフに配布。

#### 5. キャプテン会議

東日本大震災復興支援をととして、「1点10円募金」を全16チームにて実施。ウインドマンス期間中に「スポーツこころのプロジェクト」への講師派遣。また、シーズン終了後の「ラグビー感謝の日」に各チームが社会貢献活動を実施。

#### 6. ジュディシヤル・サイティング制度の実施

国際レベルのリーグ運営をめざし、同制度を昨年度同様リーグ戦、ワイルドカードトーナメント、プレイオフトーナメント、日本選手権全試合で実施した。

導入4年目、出場停止案件は1件(前年3件)成果を上げてきている。

## 8. 代表委員会

<15人制日本代表>

### (1) 合宿

- 4/1(月)～5日(金) 菅平
- 4/9(火)～12(金) JISS
- 4/12(金)～25(木) 福岡
- 6/3(月)～6日(木) 神戸
- 6/6(木)～9日(日) 大阪
- 6/9(日)～17(月) 東京
- 9/15(日)～17(火) サントリー府中スポーツセンター
- 10/6(日)～8(火) キヤノンスポーツパーク
- 10/27(日)～11/3(日) サントリー府中スポーツセンター

### (2) HSBCアジア5か国対抗

- 第1戦 4/20(土) 日本代表 121-0 フィリピン代表 (福岡/レベルファイブスタジアム)
- 第2戦 4/27(土) 日本代表 38-0 香港代表 (香港/香港ラグビーフットボールクラブ)
- 第3戦 5/4 (土) 日本代表 64-5 韓国代表 (東京/秩父宮)
- 第4戦 5/10(金) 日本代表 93-3 UAE代表 (ドバイ/ザ・セブンズ)

### (3) IRBパシフィックネーションズカップ2013

- 第1戦 5/25(土) 日本代表 17-27 トンガ代表 (神奈川/ニッパツ三沢球技場)
- 第2戦 6/1(土) 日本代表 8-22 フィジー代表(ラウトカチャーチルパーク/フィジー)

### (4) リポビタンDチャレンジ2013

- 第1戦 6/8 (土) 日本代表 18-22 ウェールズ代表(大阪/花園)
- 第2戦 6/15 (土) 日本代表 23-8 ウェールズ代表(東京/秩父宮)

### (5) リポビタンDチャレンジカップ2013

- 11/2日(土) 日本代表 6 - 54 ニュージーランド代表(秩父宮)

### (6) リポビタンDツアー2013

- 第1戦11/9(土) 日本代表 17 - 42スコットランド代表(スコットランド・エジンバラ)
- 第2戦11/12(火) 日本XV 5 - 40グロスター(イングランド・グロスター)
- 第3戦11/15(金) 日本代表 40 - 13ロシア代表(ウェールズ)
- 第4戦11/23(土) 日本代表 40 - 7スペイン代表(スペイン・マドリッド)

<Jr.JAPAN関係>

Jr Japan PRC オーストラリア遠征

直前合宿: 2月20日～24日

遠征期間: 2月25日～3月20日

試合期間: 3月1日～3月18日

グループA

- 1、 Western Force
- 2、 QLD REDS
- 3、 QLD U20
- 4. FIJI A
- 5. JAPAN

第1戦 対 Western Force A (61-6でWestern Forces 勝利)

第2戦 対 QLD RED A (81-7でQLD REDA 勝利)  
第3戦 対 QLD U20 (40-26でQLD U20 勝利)  
第4戦 対 FIJI A (99-13でFIJI A 勝利)  
《最終成績》 グルーブリーグ敗退、最下位

<U20日本代表>

JWRTチリ遠征

事前合宿:5月19日～5月21日  
遠征期間:5月21日～6月12日  
試合期間:5月28日～6月9日  
第1戦 対 ウルグアイ (40-20で日本勝利)  
第2戦 対 カナダ (15-39でカナダ勝利)  
第3戦 対 トンガ (43-22で日本勝利)  
第4戦 対 チリ(35-38でチリ勝利)  
《最終成績》 4位

<男子7人制日本代表>

1.ラグビーワールドカップ・セブンズ2013(ロシア・モスクワ)

遠征期間:6月25日～7月1日  
大会期間:6月28日～6月30日  
結果:18位  
第1戦 対 スコットランド 17-19  
第2戦 対 ロシア 12-12  
第3戦 対 南アフリカ 0-33  
ボウル準々決勝 対フィリピン 50-0  
ボウル準決勝 対グルジア24-21  
ボウル決勝 対ロシア 5-29

2.第27回ユニバーシアード競技大会(ロシア・カザン)

遠征期間:7月10日～20日  
大会期間:7月14日～17日  
結果:6位  
第1戦 対 ラトビア 28-5  
第2戦 対 ナミビア 38-7  
第3戦 対 南アフリカ 14-28  
プレート準々決勝 対イギリス 5-31  
プレート準決勝 対 ポーランド33-7  
プレート決勝 対 ベルギー 10-19

3.ARFU HSBCアジアセブンズシリーズ2013第1戦「マレーシアセブンズ」(マレーシア)

遠征期間:8月29日～9月2日  
大会期間: 8月31日～9月1日  
結果:優勝  
第1戦 対 カザフスタン38-0  
第2戦 対 スリランカ 29-14  
カップ準々決勝 対タイ 49-0  
カップ準決勝 対韓国15-7  
カップ決勝 対香港14-10

4.ARFU HSBCアジアセブンズシリーズ2013第2戦「タイセブンズ」(タイ)

遠征期間:9月19日～23日  
大会期間:9月21日～22日  
結果:優勝

第1戦 対 シンガポール 45-5  
第2戦 対 フィリピン 24-10  
カップ準々決勝 対 マレーシア 38-7  
カップ準決勝 対 スリランカ 52-5  
カップ決勝 対 香港 17-12

5.ARFU HSBCアジアセブンズシリーズ2013第3戦「インドセブンズ」(インド)

遠征期間:10月10日～14日  
大会期間:10月12日～13日  
結果:準優勝  
第1戦 対 中華台北 28-5  
第2戦 対 フィリピン 39-7  
カップ準々決勝 対 タイ 38-0  
カップ準決勝 対 マレーシア 19-0  
カップ決勝 対 香港 14-24

6.ARFU HSBCアジアセブンズシリーズ2013第4戦「シンガポールセブンズ」(シンガポール)

遠征期間:11月7日～11日  
試合期間:11月9日～10日  
結果:優勝  
第1戦 対 中華台北 31-0  
第2戦 対 タイ 54-0  
カップ準々決勝 対 マレーシア 41-5  
カップ準決勝 対 中国 26-0  
カップ決勝 対 香港 24-19

7.HSBCセブンズワールドシリーズ 東京セブンズ2014

試合期間:3月22日～23日  
結果:11位12位相当  
第1戦 対 アルゼンチン 14-14  
第2戦 対 南アフリカ 5-33  
第3戦 対 ケニア 7-12  
ボウル準々決勝 対 サモア 42-12  
ボウル準決勝 対 ウェールズ 19-24

8.HSBCセブンズワールドシリーズ 香港セブンズ2014(2014-2015コアチーム昇格決定大会)

遠征期間:3月24日～31日  
試合期間:3月28日～30日  
結果:優勝  
第1戦 対 ウルグアイ 24-0  
第2戦 対 トリニダード・トバゴ 41-0  
第3戦 対 クック諸島 26-7  
準々決勝 対 チュニジア 38-7  
準決勝 対 ロシア 19-14  
決勝 対 イタリア 26-5

<女子15人制日本代表>

RWC2014アジア地区予選 カザフスタン遠征  
遠征期間: 9月2日～9月9日  
試合期間: 9月4日、9月7日  
成績:準優勝

第1戦 対香港 82-0  
決勝戦 対カザフスタン 23-25

<女子日本代表 7人制>

1.RWC7's2013(ロシア・モスクワ)

事前合宿:6月19日～6月24日

遠征期間:6月25日～7月1日

試合期間:6月28日～6月30日

第1戦 対ロシア 10-14

第2戦 対イングランド0-39

第3戦 対フランス 0-43

ボウル準々決勝 対オランダ 14-19

2.第27回ユニバーシアード競技大会(ロシア・カザン)

事前合宿:7月8日～7月9日

遠征期間:7月10日～7月21日

試合期間:7月16日～7月17日

第1戦: 対フランス 0-22

第2戦: 対カナダ 10-27

第3戦 対ウクライナ :0-18

第4戦 対ロシア 5-29

9/10位決定戦 対アメリカ 10-5

3.ARFUアジア女子セブンズシリーズ2013第1戦「タイセブンズ」(タイ)

事前合宿:9月10日～9月17日

遠征期間:9月18日～9月22日

試合期間:9月20日～9月21日

第1戦: 対韓国 27-0

第2戦: 対中華台北 41-0

カップ準決勝:対カザフスタン 17-0

カップ決勝:対中国10-14

4.アジアパシフィック女子セブンズ2013 (上海)

事前合宿:10月16日～10月23日

遠征期間:10月24日～10月28日

試合期間:10月26日～10月27日

第1戦: 対中国 5-22

第2戦: 対パプアニューギニア 34-7

第3戦: 対サモア25-9

第4戦: 対香港 26-7

第5戦: 対オーストラリア 12-29

カップ準決勝:対オーストラリア29-14

カップ決勝:対中国 10-29

5.ARFUアジア女子セブンズシリーズ2013第2戦「インドセブンズ」(インド・プネー)

事前合宿:10月31日～11月6日

遠征期間:11月6日～11月9日

試合期間:11月9日～11月10日

第1戦 対イラン 53-7

第2戦 対フィリピン 50-0

第3戦 対シンガポール33-5

第4戦 対アラブ首長国連邦28-5

第5戦 対香港 21-15

決勝 対中国 19-14

6.IRB 女子セブンズワールドシリーズアメリカ大会(アメリカ・アトランタ)

事前合宿:2月7日～10日  
 遠征期間:2月11日～17日  
 試合期間:2月15日～16日  
 第1戦 対ロシア 0-29  
 第2戦 対スペイン 12-7  
 第3戦 対ブラジル 21-7  
 カップ準々決勝 対ニュージーランド 0-42  
 プレート準決勝 対スペイン 0-28  
 7位/8位 対イングランド 12-19

7.IRB 女子セブンズワールドシリーズブラジル大会(ブラジル・サンパウロ)

事前合宿:2月7日～10日  
 遠征期間: 2月17日～2月25日  
 試合期間:2月21日～2月22日  
 第1戦:対ロシア 0-17  
 第2戦:対オーストラリア 7-13  
 第3戦:対アルゼンチン 37-0  
 カップ準々決勝:対オーストラリア 0-27  
 プレート準決勝:対ロシア5-10  
 7位/8位 対オランダ 13-5

8.香港女子セブンズ(日本選抜チーム)(香港)

事前合宿:3月25日～3月27日  
 遠征期間:3月27日～3月30日  
 試合期間:3月28日  
 第1戦 対シンガポール 36-7  
 第2戦 対アイルランド 27-12  
 カップ準決勝 対カナダ 0-38  
 3/4位決定戦 対南アフリカ 10-28

〈U18男女7人制代表〉

第2回アジアユースゲームズ(2013/南京)  
 直前合宿:8月13日(火)  
 遠征期間:8月14日(水)～8月20日(火)  
 試合期間:8月17日(土)～19日(月)

『男子』

グループA	グループB
日本	香港
台湾	中国
韓国	スリランカ
タイ	フィリピン
カザフスタン	

《グループA》

第一戦 対カザフスタン  
 第二戦 対韓国 26-0  
 第三戦 対タイ 12-24  
 第四戦 対台湾 40-19

《決勝トーナメント》

準々決勝 対中国 12-7

準決勝 対香港 12-19

三位決定戦 対台湾 33-7

《最終成績》

銅メダル

『女子』

<b>グループA</b>
日本
中国
カザフスタン
香港
タイ

《グループA》

第一戦 対香港 38-5

第二戦 対タイ 43-0

第三戦 対カザフスタン 38-0

第四戦 対中国 26-0

《決勝トーナメント》

準決勝 対香港 48-0

決勝 対中国 28-14

《最終成績》

金メダル

## 9. 普及・競技力向上委員会

### コーチ部門

・コーチデータベース登録者数 :15,146名【女性323名】(有効期限切れ含む)

平成25年度コーチ資格新規取得者:

新スタートコーチ 1,221名【女性69名】(2014年3月末現在)

育成コーチ 21名 強化コーチ 45名

・資格者養成講習会・研修会開催状況

Super Week (IRB 講習会複数開催)

IRB Master Trainer コース 5/1-5/4 参加者1名

IRB Trainer コース 5/1-5/4 参加者2名

IRB Educator コース 5/2-5/4 参加者8名

IRB Coaching レベル1 5/3 参加者17名

IRB Rugby Ready 5/3 参加者14名

IRB S&C レベル1 5/4 11名

\* Educator コースはコーチとマッチオフィシャルの両方を開催

トップチームコーチ講習会&IRB Level3 part1 コーチ養成講習会 10月31日~11月4日

トップチームコーチ講習会&IRB Level3 part2 コーチ養成講習会 3月10日~3月12日

強化コーチ養成講習会 7月20日~7月24日

育成コーチ養成講習会

(北海道)7月13日~7月15日

(広島)11月22日~11月24日

新スタートコーチ資格認定養成講習会:41回 (2014年3月末現在)

ブラッシュアップ研修会:51回 (2014年3月末現在)



## 一貫指導部門

### 1. U16・17ブロック合宿、U17 合同大会／ユースコーチ研修会事業

・コーチ部門との連携による「U16・17ブロック合宿からジャパンにつづく一貫システムづくり」と、日本スタイル策定と指導者への落とし込みを行った。

<実施スケジュール>

#### U16・17ブロック合宿

- 北海道 U16 平成 25 年 8 月 9 日(金)～10 日(土) 北海道・北見市 65 名  
U17 平成 25 年 6 月 15 日(土)～17 日(月)北海道・帯広市 61 名
- 東北 U16 平成 25 年 6 月 28 日(金)～30 日(日)青森 大鰐 50 名  
U17 平成 25 年 6 月 28 日(金)～30 日(日)青森 大鰐 57 名
- 関東 U16 平成 26 年 3 月 14 日(金)～16 日(日) 山梨・山梨学院 74 名  
U17 平成 25 年 6 月 21 日(金)～23 日(日)神奈川・日大稲城 60 名
- 東海 U16 平成 25 年 12 月 13(金)～15(日) 岐阜県・長良川球技メドウ 70 名  
U17 平成 25 年 6 月 28(金)～6 月 30 日(日)三重県・鈴鹿 67 名
- 北信越 U16 平成 25 年 6 月 21 日(金)～23 日(日) 長野県・菅平 80 名  
U17 平成 25 年 6 月 21 日(金)～23 日(日)長野県・菅平 47 名
- 近畿 U16 平成 25 年 6 月 7 日(金)～9 日(日)奈良県・天理 51 名  
U17 平成 25 年 6 月 7 日(金)～9 日(日)奈良県・天理 70 名
- 中国 U16 平成 25 年 9 月 14 日(土)～16 日(月) 岡山県・美作 80 名  
U17 平成 25 年 6 月 14 日(金)～16 日(日)島根県 70 名
- 四国 U16 平成 26 年 3 月 15 日(土)～16 日(日) 愛媛県・西条市 90 名  
U17 平成 25 年 5 月 11 日(土)～12 日(日) 愛媛県・久万高原 70 名
- 九州 U16 平成 25 年 7 月 6 日(土)～8 日(月) 大分県・湯布院 48 名  
U17 平成 25 年 7 月 6 日(土)～8 日(月) 大分県・湯布院 51 名

#### U17 合同大会指導者研修会

日時:平成 24 年 7 月 31 日(水)～8 月 4 日(日)

場所:菅平高原

参加者:9 ブロックチーム(選手 22 名、コーチ 4 名)合計 234 名

ユースコーチおよびスタッフ 25 名

#### ユースコーチ&リソースコーチ合同研修会

日程:平成 25 年 4 月 15 日～17 日

場所:流通経済大学龍ヶ崎

参加者:ユースコーチおよびスタッフ 47 名

#### RUGNET

##### 第1回

日程:平成 25 年 9 月 9 日

参加者:46 名 (ラグビースクールコーチから、他競技のコーチまで幅広い)

##### 第2回

日程:平成 25 年 10 月 21 日

参加者:27 名(おもに、大学、高校のコーチ、強化コーチなど)

##### 第3回

日程:平成 25 年 11 月 6 日

参加者:43 名 (中高大指導者、トップリーグ監督、他競技のコーチ)

##### 第4回

日程:平成25年12月18日

参加者:32名(中高トップリーグ指導者、侍セブンスタッフ)

第5回

日程:平成26年1月13日

参加者:38名(中高大トップリーグ指導者、他競技のコーチ)

第6回

日程:平成26年2月24日

参加者:63名(ラグビースクールコーチ、中高大指導者)

### ジャパンクリニック

第1回

日程:平成25年6月13日

参加者:17名(RC, YC, 大学・高校コーチ)

第2回

日程:平成25年6月16日

参加者:28名(RC、トップリーグ・大学・高校コーチ)

第3回

日程:平成25年6月26日(水)

参加者:45名(RC、トップリーグ・大学・高校コーチ)

### 指導者講習会等

平成25年4月14日 ジャパンラグビースクール

平成25年4月14日 静岡代表スポットコーチ

平成25年6月～4か月 新潟県国体セブンズ

平成25年5月19日 ジャパンラグビースクール

平成25年6月2日 ジャパンレジェンズ ラグビークリニック

平成25年7月13日～14日 徳島県ラグビークリニック

平成25年7月14日 ジャパンラグビースクール

平成25年8月11日～14日 久万高原町サマーカップ

平成25年8月17日 山口県指導者強化事業 指導者講習会 兼 山口県U16強化講習会

平成25年9月7日～8日 U16 静岡県選抜強化事業

平成25年11月23日 徳島県ラグビークリニック

平成25年12月7日～8日 西条市ラグビーフェスタ

平成26年2月8日 フレンドリーマッチ オリエンテーション

平成26年2月11日 山口県ブラッシュアップ研修講師

平成26年2月15日 ラグビースクールプロモーション講習会

平成26年2月22日 愛知県高校指導者講習会

平成26年3月21日～23日 東海地区高等学校ラグビー普及指導講習会

平成26年3月18日 都内高校生対象都民還元事業セブンズクリニック

### 科学／国際技術／情報・AIR部門

1. ラグビーゲーム・スキルに関する日本独自のラグビー科学情報活動を遂行した。
2. ラグビー科学研究 vol.25-1(スクラム技術論序説)を発刊(平成25年2月)
3. JOC、体協、JISSとの連携強化を図り、7人制強化および普及に必要な支援活動を行った。特に女子代表の世界スタンダードエビデンス構築(安全対策委員会と連携)に務めた。

<具体的な取り組み>

- ① 戦略検討のため国際関連学会に参加した

日時:25年11月

場所:アイルランド・ダブリン:IRBカンファレンス

- ②異競技、異組織との連携構築とした、JISS 情報事業部、研究部と連携し研究情報活動を分担  
スポーツ政策比較研究実地調査

日時:平成25年9月

場所:英国ラフバラ大学、レスタータイガース、UK スポーツ他

- ③情報支援:情報科学・組織経営情報ニュースとして、ニュース発信を行った

- ④(AIR)連携組織との実践関係構築:JISS,JOC等

五輪競技化された場合のJOCコーチ研修義務「ナショナルコーチアカデミー」内容の研究を行った

- ⑤コーチ委員会:資格コーチ研修支援(平成25年8月:オリンピックセンター)

- ⑥(AIR)アジア各ユニオンとの情報共有を検討した

- ⑦AIR向け科学情報ニュース発信

## 普及育成部門

25年度は小学校体育へ進出、中学生競技人口増加、を軸に全国の都道府県協会の普及活動との連携を高め、日本ラグビー発展の基盤強化に取り組む。

6歳未満～15歳までの登録人数推移は、前年度比56人増(100.19%)という結果となった。これは、日本国の人口統計での同世代の減少率から比較すると、比例減少をせずに増加計画にあるという結果が分かる。

### 【小学生】

- ①ラグビースクールのプロモーション力の強化と支援
- ②ラグビーを楽しめるルールの検証
- ③各カテゴリーの「場」の創出(全国大会等)
- ④全国規模でのミニ・ラグビープレーヤー対象のアンケート調査の実施
- ⑤小学生が積極的にラグビー観戦したくなるような施策を講じる
- ⑥一貫指導体制の確立

#### 1. 三地域ミニ・ジャンボリー大会 助成

- (1)関東協会:『SEINANラグビーマガジン CUP 関東ミニ・ラグビー交流大会 2013/菅平ミニ・ラグビージャンボリー交流大会』

日程:7月14日(日)・15日(月・祝) 会場:長野県・菅平サニアパーク 参加者:約500名

- (2)関西協会

- ①『第7回 関西ミニ・ラグビージャンボリー交流大会』

日程:6月29日(土)・30日(日)

会場:兵庫県・淡路佐野運動公園 ポールパークあわじ 参加者:選手約750名、指導者、観客約2000名

- ②『SEINANラグビーマガジン CUP 関西ミニ・ラグビー交流大会 2014』

日程:平成25年10月19(土)～20(日)

会場:J-GREEN 堺 参加者 選手800人、指導者200人、役員30名

- (3)九州協会:『SEINANラグビーマガジン杯 第40回九州少年ラグビー交歓会』

日程:8月23日(金)～25日(日)

会場:国立阿蘇青少年交流の家 参加者:選手386名、指導者100名、保護者・関係者約600名

#### 2. 三地域ブロック大会 助成

- (1)関東協会:第25回北海道ラグビースクール小学生大会 兼 第32回北海道ラグビースクール中学生大会

日程:平成25年9月21日～22日

会場:旭川市忠和公園多目的運動広場 参加:27チーム

(2) 関西協会

① 四国ブロック ミニラグビー交流大会

日程: 平成 25 年 8 月 4 日～5 日

場所: 高知県土佐町田井「土佐町オコゼハウス」グラウンド 参加: 選手 150 名

② SEINAN フレンドリーマッチ (近畿ブロック大会)

日程: 平成 25 年 10 月 20 日

場所: J-Green 堺 参加: 21 チーム

③ 北陸ブロック ミニラグビー交流大会

日時: 平成 26 年 3 月 22 日

場所: 福井県おおい町総合運動公園(プレーパーク大飯)人工芝グラウンド

参加: 12 チーム 100 名、指導者 30 名、役員 5 名

(3) 九州協会

① 第 14 回西九州ブロック ミニラグビー交流大会

日時: 平成 25 年 9 月 22 日

場所: 長崎県諫早市森山ふれあい広場 参加: 18 チーム 718 名(幼児～6 年生)

② 第 6 回沖縄ブロック ミニラグビー交流大会

日時: 平成 25 年 11 月 10 日

場所: 沖縄県総合運動公園 ラグビー場

参加: 13 チーム 126 名(幼稚園含む)、指導者 14 名、役員 60 名、保護者等 150 名

③ 第 14 回東九州ブロック ミニラグビー交流大会

日時: 平成 25 年 11 月 24 日

場所: 宮崎県総合運動公園運動広場

参加: 17 チーム 545 名、指導者 160 名、役員 30 名、保護者等 460 名

④ 第 14 回南九州ブロック ミニラグビー交流大会

日時: 平成 26 年 1 月 19 日

場所: 鹿児島県鹿屋市のいこいの森運動公園 参加: 13 チーム

3. 各種研修会開催助成(ミニラグビープロモーション講習会)

(1) 関東協会

① 平成 25 年度関東ラグビーフットボール協会 東北地区ミニラグビー指導者研修会

日時: 平成 25 年 11 月 2 日～3 日 場所: マエダアリーナ 参加: 指導者 50 名

② 平成 25 年度関東ミニラグビー指導者講習会

日時: 平成 26 年 2 月 9 日～10 日

場所: 東京スポーツ文化館 参加: 参加者 114 名、スタッフ 26 名

(2) 関西協会

① ラグビースクールプロモーション講習会(関西協会)

日時: 平成 26 年 2 月 15 日(土)13:00～16 日(日)15:00

場所: 天理教第 38 母屋(講義)、親里ラグビー場(実技) 参加: 50 名(役員含む)

② 四国ブロックプロモーション講習会

日時: 平成 25 年 8 月 4(土)～5(日)

場所: 高知県土佐町田井「土佐町オコゼハウス」グラウンド 参加: 150 人、指導者 40 人

③ 北陸ブロックプロモーション講習会

日時: 平成 26 年 3 月 21 日(祝)

場所: 福井県おおい町総合運動公園(プレーパーク大飯) 参加: 20 名

(3)九州協会:ラグビースクールプロモーション講習会

日時:平成26年2月15日(土)～16日(日)

場所:サンピア福岡 参加:27名(役員含む)

4. トップリーグ FOR ALL ミニ・ラグビーフレンドリーマッチ

日時:平成26年2月8日(土)～9日(日)

参加:関東協会推薦(東北):岩手ブラックナイツ

【紫波オックスラグビースクール・盛岡ラグビースクール、滝沢ラグビースクール合同】

関東協会推薦(関東):ワセダクラブ ラグビースクール

関西協会推薦:東大阪ラグビースクール

九州協会推薦:長崎ラグビースクール

内容:8日:オリエンテーション

9日:サントリーサンゴリアス クリニック&場内ツアー／交流会

※2月8日未明からの降雪による積雪により、9日の“トップリーグプレーオフファイナル”が日程延期となり、それに伴い前座イベントとした本事業を中止とした。

【中学生】

1. 太陽生命カップ 2013 第4回全国中学生ラグビーフットボール大会

日時:平成25年9月14日～16日

場所:ケーズデンキスタジアム水戸、水戸市ツインフィールド

【中学の部】茗溪学園中学校 天理中学校 【RSの部】芦屋RS 長崎RS

【女子エキシビジョン】U15 関東女子選抜 U15 九州女子選抜 U15 兵庫県女子選抜

※ 台風16号の為、第2日目は時程変更、第3日目の競技中止、上記の通りに両チーム、或いは3チーム優勝

2. 第19回全国ジュニアラグビーフットボール大会

期間:平成25年12月29日、31日

場所:近鉄花園ラグビー場、東大阪市花園中央公園多目的球技広場(トライスタジアム)

【第1ブロック】福岡県選抜 【第2ブロック】京都府中学校選抜

3. 三地域協会の普及育成活動への助成

以下の通り、三地域主催の大会・事業を助成

①三地域ジャンボリー大会助成

②三地域ブロック大会助成

③指導者講習会助成

4. 普及拠点の拡大と選手育成の推進

①放課後ラグビープログラム(文部科学省委託事業)

新しいラグビー環境を創出し中学生の競技者を増やす受け皿作りを目的に文部科学省委託事業の委託事業「2019年ラグビーワールドカップ普及啓発事業」の一環として「放課後ラグビープログラム」を実施 以下は実施会場

<神奈川> ミズノフットサルプラザ藤沢 <滋賀> 立命館大学ラグビー場等

<沖縄> 読谷村運動広場、ざんぱスポーツパーク

②都道府県U15ジュニアトレセンの設置

部門にてガイドラインを協議・合意、三地域協会経由にて都道府県協会に2014年5月開示予定

## 5. 指導者の知識と指導力向上

### ①ジュニアラグビー指導ガイドの作成

ジュニアラグビー指導者育成の為に「ジュニアラグビー指導ガイド」は原稿案を平成25年12月の中学生部門会議にて共有・協議済み 現在最終調整中 2014年5-6月の完成予定

### ②同指導ガイドのDVD化

同DVD化については指導ガイドを発刊後に検討

## 【タグラグビー】

### 1. 学校教育現場への普及に関わる活動について

#### ①タグラグビーエドゥケーターの養成

北海道、関東、近畿、九州でエドゥケーター養成講習を実施し、26都道府県で63名のエドゥケーターを認定し、42都道府県に計88名のエドゥケーター候補を配置。

#### ②タグラグビーティーチャーの養成

20都道府県(北海道、宮城県、千葉県、東京都、神奈川県、茨城県、栃木県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、愛媛県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)で計36回のティーチャー養成研修会が開催。タグラグビーティーチャーとして認定された者は691名。

### 2. 大会およびタグフェスタ等のイベント事業について

#### ①サントリーカップ 第10回全国小学生タグラグビー選手権大会

期 間: 予選大会=平成25年10月~平成26年3月

決勝大会=平成25年2月23日・24日

会 場: 予選大会=全国47都道府県各会場

決勝大会=秩父宮ラグビー場/国立競技場

全47都道府県で開催されてきた都道府県予選・ブロック大会には、1,061チーム・延べ8,787名が参加

カップ優勝: 横浜川崎小学校連合「横浜スーパースターズ」

プレート優勝: 水戸市立梅が丘小学校「梅が丘ブルーウェイブス」

ボウル優勝: 臼杵市立市浜小学校「市浜デンジャラス」

シールド優勝: 大東ユニティーズ

#### ②タグフェスタの実施状況

関西協会管下で2回、九州協会管下で7回のフェスタが開催されており、例えば鹿児島県では毎年4000人以上の参加者。

#### ③その他のイベント

AIGタグラグビーツアーが実施された。全国12都道府県(北海道、岩手県、宮城県、東京都、愛知県、京都府、大阪府、香川県、山口県、福岡県、大分県、佐賀県)で計13回実施され、タグラグビーの認知拡大に貢献した。

## 【アジアスクラムプロジェクト】

### 1. 海外指導者派遣事業

#### (1)【インドネシア派遣】3月21日~5月18日

氏 名: 内山達二(流通経済大学 ラグビー部 監督)

中川雄太(早稲田大学ラグビー部 WASEDA CLUB)

#### (2) 青年海外協力隊「JICA ボランティア」連携協力事業

##### ①【ラオス派遣】3月27日~6月26日

氏 名: 高濱 丈輔 派遣先: ラオス・ビエンチャン市シサタナック郡

##### ②【スリランカ派遣】3月26日~6月23日

氏 名: 古川 新一(ヤマハ発動機 株式会社) 派遣先: スリランカ・クルネーガラ県クルネーガラ

氏名：白馬 悠 派遣先：スリランカ・バドゥッラ県バドゥッラ  
③【キルギス共和国派遣】1月8日(水)～2016年1月(2年間の派遣中)  
氏名：服部 貴紀(はっとり たかのり) 派遣先：キルギス共和国

## 2. 青年海外協力隊(JICA)との連携

- (1) アジア地域や各国の競技力向上や裾野拡大を図る。
- (2) RWC2019開催の日本での認知度の向上を図る。
- (3) 国際協力に係る理解の促進を図る。

対象国

本プロジェクトの対象国は、アジア、中東地域(マグレブ諸国を除く)の青年海外協力隊及びシニア海外ボランティアの派遣対象国とする。

## 3. ARFU 関係

### (1) ARFU 会議 クアラルンプール

日時:平成25年6月

場所:マレーシア・クアラルンプール

出席:上野 ARFU 理事

### (2) ARFU 会議 プノンペン

日時:平成25年12月6日～8日

場所:カンボジア・プノンペン

出席:上野 ARFU 理事

## 【文部科学省委託事業「2019年ラグビーワールドカップ普及啓発事業」】

### (1) 「タグラグビー」を活用したラグビーの普及・拡大

①2019年ラグビーワールドカップ日本大会開催告知と、タグラグビー導入ガイドブックの全国配布。

・任意に抽出した国内小学校 7,000校へのガイドブック送付。

②学校教員向け指導案・教材提供の充実と提供。

・導入実績や授業研究成果の公表(指導案の収集と有効活用)

・イラストや動画を活用した参考教材の提供(動画や電子媒体)

・インターネットを活用したネット資料庫等

③タグラグビー「トライキャラバン」の実施

・学校の体育現場や体験イベントにタグラグビーの楽しみ方を伝えるための指導者を派遣。

25年度応募をうけ6校に指導者を派遣。

### (2) 【放課後ラグビープログラムモデル事業】

#### 【関東会場】

2014年1月～2014年3月末(全12回 1/10,24,30,31,2/6,13,20,27,28,3/6,13,20)

神奈川県藤沢市・ミズノフットサルプラザ藤沢 人工芝フットサルコート 24人(男19人、女5人)

#### 【関西会場】

2013年12月～2014年3月末(全12回 12/23,1/6,13,20,27,2/3,10,17,24,3/3,10,17)

滋賀県 草津市・立命館大学ラグビー場 32人(男31人、女1人)

#### 【九州会場】

2013年12月～2014年3月末(全12回 12/18,25,1/8,15,23,29,2/5,14,19,27,3/12,19)

沖縄県 読谷村・読谷村運動場／ざんぱスポーツパーク 17人(男15人、女2人)

### (3) 【女子指導者、レフリーの養成事業】

### ①女子指導者養成プロジェクトの計画実施

内 容:ラグビー界の女性競技経験者や、指導者志望者を対象に、各種指導者資格を短期間で受講・取得。

- ・ラグビー協会指導者資格「新スタートコーチ」の取得
- ・国際ラグビー連盟コーチ資格「IRB レベル I」の取得

【九州会場】 3月22日(土) コカ・コーラウエスト さわやかトレーニングセンター(福岡県福岡市)／9名

【関東会場】 3月29日(土) TEPIA ホール／港区立青山小学校・校庭(東京都港区)／10名

【関西会場】 3月29日(土) 追手門学院大学(大阪府茨木市)／17名

### ②「女子レフリーアカデミー」の創設

内 容:10代・20代の将来有望なレフリーを中・長期的計画をもとに特別研修を実施し、将来のアジアラグビー連盟(ARFU)、世界ラグビー連盟(IRB)パネルレフリーの輩出を目指す。

- (1)IRBレフリーレベルIコース、レベルIIコース取得
- (2)男子レフリーアカデミーとの合同研修(JRFU 事業)
- (3)サッカー協会レフリーアカデミーとの合同研修
- (4)語学研修

## 10. 審判委員会

### レフリー部門

#### 1. トップレフリー(A・A1・A2・女子)研修活動

##### ①パネルレフリー研修会 東京・秩父宮

- ・5月11・12日 東京・ナショナルトレーニングセンター レフリー16名・スタッフ19名
- ・7月15・16日 東京・ナショナルトレーニングセンター レフリー23名・スタッフ12名
- ・7月27～29日 長野・菅平高原 女子レフリー10名・スタッフ7名
- ・8月24～26日 長野・菅平高原 三地域若手レフリー36名・スタッフ6名
- ・11月10～11日 東京・ナショナルトレーニングセンター レフリー16名・スタッフ10名

#### ②春季JTLオープン戦・チーム練習への派遣

関東・関西・九州 106回派遣(試合・トレーニング)

#### ③日本代表関連合宿への参加 48回

日本代表・U-20代表・高校代表・セブンズ代表(男女)・セブンズアカデミー・女子代表・女子セブンズアカデミー

#### ④トップレフリー夏季合宿派遣 40回派遣(試合・トレーニング)

7月24日～8月7日 網走市・北見市・美幌市・津別町

#### ⑤夏季JTLプレシーズンマッチ・チーム練習への派遣 関東・関西・九州 29回派遣(試合・トレーニング)

#### ⑥JTL派遣(8～2月) 各地域 121試合派遣

#### ⑦秋・冬季JTLトレーニングマッチへの派遣

関東・関西・九州 67回派遣(試合・トレーニング)

#### ⑧全国高校大会若手レフリー研修会

12月27日～1月3日 大阪 花園

#### ⑨全国各種大会派遣

11～1月 全国大学選手権大会(東京・熊谷・瑞穂・大阪・福岡)

12～3月 全国クラブラグビー大会(熊谷・宝が池・大阪・鞘ヶ谷)

1月 全国地区対抗(瑞穂)

全国高専大会(神戸)

2～3月 日本選手権(東京・大阪)

#### ⑩アカデミーレフリー研修会(男子・女子)

・東京・大阪 計12回開催

#### 2. 海外交流(派遣・受け入れ)

##### ①派遣関係



- ・アジア5ネーションズカップ 5試合派遣
- ・アジアエリートキャンプ(スリランカ) 2名派遣
- ・アジア派遣(アジア圏での国際試合・大会) 13 試合
- ・Summer Universiade (Russia・Kazan) 派遣
- ・IRB JWRT U-20 大会(Chile) 派遣
- ・IRB JUNIOR WORLD CHAMPIONSHIP(France)派遣
- ・IRB Talent Optimization(南アフリカ)派遣
- ・IRB World 7's 派遣
- ・World Games (Columbia) 派遣
- ・NZ エリート研修(ウェリントン)8月18日～9月14日
- ・NZ・ITM カップ派遣
- ・IRB Training & Education Conference (London)
- ・IRB Test Match Hongkong vs Belgium
- ・UAE 協会交流
- ・USA 協会交流
- ・Guam 協会交流

## ②受入関係

- ・IRBレフェリーアドバイザーの招聘 (8月菅平・12月花園)
- ・IRB World 7's (3月東京)
- ・サニックスユース大会 (福岡 4月28日～5月5日)
- ・NZ 協会レフェリーマネージャー招聘(12月)
- ・NZ・ワイカト協会レフラー交流 (8月北海道)
- ・Wales、All Blacks 戦 担当レフェリー(6・11月東京・大阪)
- ・アジア5ネーションズカップ
- ・パシフィックネーションズカップ
- ・香港協会レフェリー交流 (3月東京・8月北海道)
- ・UAE 協会レフェリー交流 (8月菅平)
- ・USA協会レフェリー交流 (3月東京)

## 3. レフェリーコーチ・評価研修活動

- ①ワールドユース大会研修会 4月28日～5月5日 福岡 宗像市 レフェリーコーチ7名
- ②海外招聘レフェリーコーチによる巡回指導(8・12月)
- ③IRBトレーナー・エデュケーター資格取得講習会(5月茨城) 7名受講
- ④パネル・三地域・女子レフェリー研修(8月) レフェリーコーチ30名
- ⑤全国高校大会研修会 12月27日～1月3日 大阪 花園 レフェリーコーチ38名

## ルール部門

- ①IRB ELV 施行に向けての見解集約、IRB からの情報収集を行った。
- ②ラグビーの日本における正しい発展を目指し、IRB ヘルール改正の提言・実現を図った。
- ③ルールとレフリングのギャップ解消に努めた。
- ④ルールの分かりやすい説明・啓蒙活動を行った。

## 11. 高校委員会

### 1. 大会関連

- ①第13回全国選抜大会 :熊谷ラグビー場  
平成25年3月30日(土)～4月7日(日)  
大阪桐蔭33-14東海大仰星  
第2回全国高校選抜女子セブンズ大会  
:熊谷ラグビー場  
平成25年4月5日(金)  
11チーム参加  
カップ優勝 石見智翠館  
プレート優勝 SCIX 近畿セブンズアカデミー  
ボウル優勝 南九州選抜

### ②ジャパンセブンズ 2013 高校の部

- 平成25年4月13日(土):江戸川区陸上競技場  
カップ優勝 九州選抜  
プレート優勝 関東選抜  
ボウル優勝 北信越選抜  
MVP 大嶺影丸(九州)

### ③サニックス 2013 ワールドラグビース交流大会

- 平成25年4月28日(日)～5月5日(日)  
:グローバルアリーナ  
優勝 St.ケンティガン C(NZ)  
女子エキシビジョン 1位関東選抜 2位福岡レディース

- 3位近畿選抜 4位石見智翠館
- ④第9回全国高等学校合同チームラグビー大会  
平成25年8月1日(木)～8月4日(日) 菅平高原  
U17 カップ優勝 九州 プレート優勝 中国  
ボウル優勝 東海  
U18 カップ優勝 九州 プレート優勝 近畿  
ボウル優勝 北海道
- ⑤第3回全国高校女子7人制ラグビー大会  
平成25年8月1日(木)～8月4日(日) 菅平高原  
経験者の部 9チーム参加  
カップ優勝 関東 プレート優勝 東海  
ボウル優勝 関東・北信越
- ⑥第67回国民体育大会  
平成25年9月29日(日)～10月3日(木)  
少年の部 江戸川区 陸上競技場・  
優勝 東京 12-7 大阪
- ⑦第94回全国高校ラグビー大会  
平成25年12月27日(木)～平成26年1月7日(火)  
近鉄花園ラグビー場  
優勝 東海大仰星19-14桐蔭学園
- ⑧第44回全国高専大会  
平成26年1月4日(土)～9日(木)神戸ユニバー競技場  
仙台高専・名取5-0奈良工業高専
- ⑨第6回U18 合同チーム東西対抗戦  
平成26年1月7日(月) 花園  
西軍31-0東軍

### 3. 強化指導

- ①トライリージョンズ  
平成25年6月21日(金)～25日(火) 北上市
- ②U16/U17 ブロックレセン  
全国9ブロックで開催

- ③U17合同チーム大会・合宿  
平成25年8月1日(木)～4日(日) 菅平高原
- ④日韓中ジュニア交流競技会 中国:二坊市  
平成25年8月24日(土)26日(月)27日(火)

### 4. 普及指導

- ①合同チーム交流大会兼第32回普及指導講習会  
平成26年2～3月(北海道25年4月)  
全国9ブロックで開催
- ②スキルアップキャンプ 2013  
平成25年7月29日(月)～8月1日(木) 長野県:菅平  
19校259名が参加

### 5. 指導者研修

- 第38回高等学校指導者研修会  
平成26年1月10日(金)～12日(日) 東京:日本青年館

### 6. 高校海外交流

- ①高校日本代表海外遠征  
平成26年3月9日(日)～22日(土)イタリア・フランス  
第1戦 3月12日(水)U19 イタリア代表 22-34  
第2戦 3月16日(日)U19 イタリア代表 28-29  
第3戦 3月19日(水)U19 フランス代表 14-61
- ②第20回日韓中ジュニア交流競技大会 中国:二坊市  
平成25年8月19日(月)～22日(木) 事前合宿  
(大阪体育大学)  
平成25年8月24日(土)69-0二坊市選抜  
26日(月)68-7 韓国  
27日(火)47-6 中国

### 7. 高校ルール検討委員会

- スクラムのコンテストについて

## 12. 安全対策推進委員会

- 「重症事故の撲滅」と「安全なラグビーの普及・徹底」を掲げ、安全対策の指導を行った。
- 発生事故に対する調査・分析・研究を行った。
- チーム責任者等に『重症事故撲滅対策』の意識付けを行い、特に脳振盪報告書ならびに復帰報告書に関して、提出率を上げるための施策を立案、実施した。
- 「安全推進講習会」の開催。
  - 安全推進講習会講師としてのトレーナーの育成を行った。
  - 安全推進講習会医務関連講師の育成を行った。
- チーム登録資格要件の追加など、速やかに具体的施策を実施した。
- 重傷事故分析班の活動を更に推進する予定であったが、事故の映像提出の協力を得るのが難しく不十分であった。
- 普及・啓発活動
 

外傷・傷害の撲滅を目指し啓発活動の継続的实施を行った。

外傷・傷害の撲滅を目指し啓発活動の継続的实施。

<具体的な取り組み>

  - 各委員会・部門と連携し重症事故の撲滅に努力した。
  - HPを利用して、タイムリーな事例を掲載して、啓発した。
- 調査・検討

IRB 重症報告の基準に従い重症事故データの継続的集計・分析を行った。

#### 9.研修会開催

##### ① スキルアップ研修会の実施

7月29日～8月1日に菅平において高校生及びその指導者を対象とした講習会に講師を派遣した。

##### ② 各都道府県安全対策研修会

<具体的な取り組み>

- ・安全推進講習会運用マニュアルを作成し、研修会のスムーズな運営を図った。
- ・安全対策事業報告書を作成し、各都道府県での研修会後、報告書を提出させた。
- ・三地域及び各都道府県で開催される安全対策講習会に講師を派遣した。

#### 10.セーフティ・アシスタント管理

セーフティ・アシスタント制度の円滑な運営を図った。

<具体的な取り組み>

- ・各都道府県でのセーフティ・アシスタントの養成状況を把握した。
- ・セーフティ・アシスタント管理に関する認定証・手帳を新たに発行した。認定者管理については、支部協会とともに日本協会でも情報共有することにした。
- ・セーフティ・アシスタント講習会のあり方を検討した結果、全国統一の講習マニュアルを作成した。特に資格保持者を各地域協会だけでなく、日本協会においても管理することとした。

#### 11. 委員会の開催

重症事故の速やかな対応・分析を図るとともに、各都道府県での安全推進講習会の実施状況や次年度の重点項目を策定するため年間4回委員会を開催した。

#### 12.連携

競技力向上委員会、審判委員会、中学・高校委員会との連携を一層強化し、外傷・障害の減少を図った。

### 13. メディカル委員会

#### メディカル部門

三地域協会および都道府県医務委員会間の整合性をとりながら広範な医学的支援を行った。

- ①委員会・医事担当部門会議・三地域連絡協議会
- ②医務担当・日本協会主催試合(主管協会と連携)
- ③日本代表チームメディカル部門担当(含む海外遠征)

##### 1. 三地域連絡会議／部門会議／メディカル総会

【三地域】平成26年1月18日(土)／場所:ジャパンプラブ

【全国医務委員長会議】平成25年11月2日(土)／場所:都立青山高校

【部門会議】平成26年3月16日(日)／場所:ジャパンプラブ

【総会】平成26年3月15日(土)／場所:ジャパンプラブ

##### 2. 各代表カテゴリーへのメディカルサポート

代表チームへのドクター派遣

<日本代表>

高澤 祐治(順天堂大学)

4月6日～4月11日 日本代表強化合宿

4月17日～6月22日 A5N・PNC・テストマッチ

7月13日～7月18日 日本代表強化合宿

9月21日～9月23日 ミニ合宿

10月20日～11月24日 欧州遠征

<ジュニアジャパン>

高森 草平(横浜南共済病院)

2月26日～3月20日 パシフィックラグビーカップ

<U20代表>

龍啓之助(日本大学)

5月21日(火)～6月12日(水) JWRT 大会 チリ

川崎 隆之(順天堂大学)

3月31日～4月20日 JRT大会セレクション合宿

<7人制代表(男子)>

田崎 篤(聖路加国際病院)

6月24日～7月2日 ラグビーワールドカップセブンズ 2013 (ロシア)

3月22日～30日 東京セブンズ・香港セブンズ

<7人制代表(女子)>

田崎 篤(聖路加国際病院)

6月24日～7月2日 ラグビーワールドカップセブンズ 2013 (ロシア)

2月11日～2月25日 IRB 女子セブンズワールドシリーズ 2013-2014 (アメリカ/ブラジル)

3月19日～25日 香港セブンズ

<高校代表>

井上貴司(筑後市立病院)

3月9日～3月22日 イタリア・フランス遠征

3. トップリーグ各試合、大学選手権、全国高校大会等へのメディカルコミッショナー・マッチドクターの派遣、及び観客対応。

4. ラグビードクターフォーラムの開催

日時:2月15日(土) / 場所:ホテルセントラーザ博多

5. 安全推進講習会の開催に協力

6. RWC2019全国医療従事者会議(2013.11.3)に出席

トレーナー部門

①セミナー/研修会開催

2回九州 トレーナーセミナー 7/7 受講者 18名

10回 トレーナーセミナー 3/22-23 受講予定者 47名

9回 トレーナー研修会 3/22PM 参加予定者 18名

1回関西 トレーナーセミナー 3/30 受講予定者 45名

② H25 日体協 AT 養成講習会受講推薦者

8名応募 ⇒ 5名推薦 (JRFU→日体協)⇒ 受講受諾者 3名

\*2013-2014JRTL 16 チーム中 日体協 AT 不在チーム ⇒ 0

③日本代表サポート

男子 15人制日本代表 井津秀典 青野淳之介

\*マッスルリジェネレーション (合宿・大会期間中)

U20 田代 智史 / 伊藤 渉

高校代表 大石 徹

7人制 日本代表 須藤 隆之 / 西山 朋

アカデミー 萩野次郎

女子 15人制日本代表 田中 彩乃 / 磯 あすか

7人制日本代表 平井晴子 アカデミー 楼井規子

④派遣事業

男子7人制代表 トレーナー

女子7人総代表 トレーナー

高校代表 トレーナー

コベルコカップサポート トレーナー

トライリジョンズサポート トレーナー

NZ代表チームコンディショニング(マッサージ)サポート

U18花園大会女子セブンズサポート トレーナー

セブンズシニアアカデミーサポート トレーナー

U19JWRT アジア予選

東京セブンズオフィシャルレフ リーコンディショニング トレーナー

東京セブンズ救急搬送運営役員

東京セブンズ NZ チームコンディショニング(マッサージ)サポート

\* JRTL 合同選考会サポート トレーナー

⑤安全対策委員会連携事業

トレーナーセミナー修了者に対する SA 認定・九州トレーナーセミナー ⇒16 名

## 14. 女子委員会

①第2回全国高等学校選抜女子セブンズラグビーフットボール大会

4月5日(金) 会場 熊谷ラグビー場

カップ1位 :石見智翠館高等学校(島根)

プレート1位:SICX 近畿セブンズアカデミー/市船中心千葉県チーム

ボウル1位 :南九州選抜

②KOBELCO CUP 2013 第3回全国高等学校女子7人制ラグビーフットボール大会

8月2日(金)～5日(月) 会場 菅平高原

③太陽生命カップ 2013 第4回全国中学生ラグビーフットボール大会

U15 女子7人制エキシビジョンマッチ

9月14日(土)～16日(月) 会場 ケーズデンキスタジアム水戸等

④第26回女子ラグビー交流大会

期日 11月23日(土) 会場 江戸川区陸上競技場

会長杯 日本体育大学女子ラグビー部 22-20 名古屋レディース

⑤第93回高等学校ラグビーフットボール大会エキシビジョンマッチ

U18 花園女子セブンズ

12月27日(金) 会場 花園ラグビー場

⑥JAPAN WOMENS SEVENS 2014(第15回ジャパンセブンズ大会)

26年3月16日(日) 会場 瑞穂ラグビー場

⑦女子15人制三地域対抗戦

12月15日(日) 会場:ケーズデンキスタジアム水戸

関東代表 17-10 九州代表

12月21日(土) 会場:瑞穂公園ラグビー場

関西代表 22-17 関東代表

26年1月19日(日) 会場:レバルファイブスタジアム

九州代表 7-37 関西代表

## 【特別委員会】

### 15. アンチ・ドーピング委員会

#### 1. ドーピング検査

①JADAと協力して、競技会検査166検体(トップリーグ66検体・大学チームの定期戦(関東大学対抗戦・リーグ戦、関西大学Aリーグ、九州学生リーグI部)43検体・大学選手権24検体・日本選手権17検体、IRB主催試合16検体)を実施した。IRBが主催した試合ではIRB主催の検査に協力した。競技会外検査はJADAが185検体(トップリーグ80検体、大学21検体、15人制日本代表20検体、7人制日本代表10検体、U20日本代表41検体、7人制女子日本代表13検体)実施した。競技会検査と競技会外検査で陽性例が認められず、ラグビー選手のクリーンさを示すことが出来た。

②昨年度から大学チームの定期戦(関東大学対抗戦・リーグ戦、関西大学Aリーグ、九州学生リーグI部)でも検査を実施しているため、検査対象となる大学の全チームに対して、JADAと協力してドーピング防止教育啓発の研修会を行った。また、これらの大学チームについては、チーム居場所情報の提出を義務化して、競技会外検査の対象とし、

一層のドーピング防止教育啓発を図った

③JADA および IRB の居場所情報管理について、JADA との調整を行った。

④治療目的使用に係る除外措置申請手続き (TUE) の助言と指導を行った。

## 2. 普及活動、セミナー開催、情報提供活動

①トップリーグの各チーム Dr とトレーナーを対象にドーピング防止関連の情報提供を行った。

②本委員会委員が JADA アンチ・ドーピング研修会講師養成講習会を受講し、JADA 認定の講師として JADA 研修会に協力した。JADA との連携協力のもと、JADA 認定講師の委員を研修会講師としてチームに対するドーピング防止研修会を実施した。(関東、関西、九州地区の検査対象全大学で各1回、トップリーグの希望チーム、女子セブンズアカデミー)。

③日本代表(15人制、7人制)各チーム、トップリーグ各チーム、日本選手権出場チーム、全国大学選手権出場校、女子日本代表チームに JADA 作成のドーピング防止関係教材を配布した。

④3地域協会を通じて、JADA 作成のドーピング防止教材を提供し、各協会の大学チーム等へ配布した。

⑤第93回全国高等学校ラグビーフットボール大会では、JADA のアウトリーチ・プログラムの実施に協力した。第15回全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会及び、太陽生命カップ2013 第3回全国中学生大会では、日本協会関係事業部と協力し本委員会でもアウトリーチ・プログラムを実施した。

## 16. 戦略室

JRFU 戦略計画に関して以下の業務を行った。

1. 戦略計画のレビューと修正・追加
2. 戦略計画の全国への周知徹底
3. 戦略計画のモニタリングとフィードバック
4. 戦略計画に係る各種調査分析業務
5. 競技者登録システムを中心としたデータベースシステムの構築と活用
6. その他、戦略計画の実施に伴う総合的な業務
7. 市町村協会設立推進とサポート(補助金制度活用)
8. 他団体との連携協力(タッチ、ビーチ)
9. RWC2019 組織委員会との連携(開催地決定方針等)

## 関東ラグビーフットボール協会

<各委員会報告>

メディカル委員会

### 1. 委員会活動

- 1) 総務委員会 各小委員会の支援、日本協会との連携
  - 2) 傷害安全対策委員会 重症傷害データ分析と報告
  - 3) 救急医療委員会 秩父宮医務室、医療用品の管理
  - 4) 医師派遣委員会 協会主催試合へのマッチドクター派遣
  - 5) 学術委員会 ラグビー傷害・外傷対応マニュアルの改訂
  - 6) 歯科委員会 マウスガードの普及と有用性の学術的検討
2. 都道府県医務委員長会議
3. メディカル委員会総会
4. 日本協会メディカル委員会への参加
5. 三地域連絡協議会への参加
6. 日本協会主催試合(東京セブンズ2014、トップリーグを含む)の医務活動への協力

レフリー委員会

### 1. 会議関係

- (1) 定例会議(毎月1回 於 秩父宮会議室)
  - (2) 関東協会都道府県レフリー委員長会議
  - (3) TRD レフリーコーチ会議
  - (4) マンデーミーティング他
2. 研修会関係
- (1) 東北新人大会レフリー研修会
  - (2) 関東高校大会レフリー・レフリーコーチ研修会
  - (3) 北海道レフリー研修会
  - (4) 東北高校大会レフリー研修会
  - (5) B 級レフリー認定講習会
  - (6) 三地域トップレフリー研修会
  - (7) 三地域女子レフリー研修会
  - (8) 関東トップレフリー研修会
  - (9) 国体ブロック予選大会レフリー研修会
  - (10) 花園レフリー研修会
3. 各部門・講習会関係
- (1) テクニカル・コーチ・育成部門
  - (2) アポイント部門
- ・春季リーグ戦他レフリー割当
  - ・公式戦レフリー割当(都道府県対抗、社会人、クラブ、大学、高校、中学、RS、国体予選)

- (3) TRD(トップレフリー育成)部門
- (4) 国際部門

#### 安全対策委員会

1. 菅平高原及び夏の合宿地での安全対策啓発活動
2. 日本協会安全対策委員長会議の開催
3. 各都道府県における安全推進講習会の開催とその受講義務の徹底(日本協会安全対策委員会との連携)
4. コーチ委員会と連携し、タックルDVD の作製とその周知徹底を図る。
5. 随時、重症傷害予防に関する注意喚起を促し、その啓発を図る。
6. 脳振盪・脳振盪の疑いの報告書及び復帰証明書の提出先と方法の徹底を図る。
7. 総括  
各県安全推進講習会の受講義務化(チーム登録と連動)による効果か、昨年度の関東協会内の重症事故は、半減しました。皆様日頃のご指導の賜物と感謝申し上げます。

#### コーチ委員会

1. 指導者養成事業
  - (1)強化コーチ養成講習会
  - (2)育成コーチ養成講習会
  - (3)IRB Super Week(IRB 講習会複数開催)
  - (4)関東協会トップチームコーチ会議
2. 勝つためのストレングス& コンディショニング(村上日本代表SC)
  - (1)トップチームコーチ資格認定講習会
  - (2)新スタートコーチ資格認定講習会及びブラッシュアップ講習会
  - (3)タックルプロジェクト講習会
3. 地域推進事業
  - (1)都道府県コーチ委員長会議
  - (2)タックルプロジェクト伝達講習会
4. コーチ派遣事業
  - (1)第5 回東北地区高専ラグビーフットボール講習会
  - (2)北海道高校7's 講習会
  - (3)北海道成年強化(7's)講習会
  - (4)北海道中学生合同練習会

#### 普及育成委員会

《中学校部門・中学生RS 部門》

1. 大会の主催
  - 1)第64 回関東中学校ラグビーフットボール大会
  - 2)第7 回東日本U15 中学生ラグビークラブ大会
  - 3)第15 回東日本ジュニアラグビー菅平ジャンボリー
  - 4)第19 回全国ジュニアラグビーフットボール大会関東地区中学校予選
  - 5)第34 回東北中学生ラグビーフットボール交流大会
  - 6)太陽生命カップ第4 回全国中学生ラグビーフットボール大会
  - 7)第20 回関東甲信越ジュニアラグビー交流大会
  - 8)第33 回東日本中学生ラグビーフットボール大会

- 9)第19 回全国ジュニアラグビーフットボール大会 北海道・東北地区中学校予選
  - 10)第11回東日本U15中学生ラグビーフットボール選抜大会
  2. 大会の主管
    - ・太陽生命カップ2013 第4 回全国中学生ラグビーフットボール大会
  3. 全国大会へのチームの派遣
    - ・太陽生命カップ2013 第4 回全国中学生ラグビーフットボール大会
    - ・第19 回全国ジュニアラグビーフットボール大会
- 《タグラグビー部門》

・交流会及びタグ教室実施報告  
以前のタグ普及については、協会の普及担当の活動が大半であったが、今年は地域企業、公的団体、大学の協力を得られる形での活動となった。底上げは確実になされ、ミニ、ジュニアラグビーの普及にも貢献している。また、小学校教員のタグ委員の活動も見逃せない。東北震災後開催された、復興支援活動の一環として実施されている関東地区と東北地区の小学校の交流は意味あるものとして評価したい。

・サントリーカップ第10 回全国小学生タグラグビー選手権《ミニラグビー部門》(小学生部門)

・交流大会、講習会の開催  
東北地方のミニラグビー活動が、震災の影響が無くなったわけではないが少しずつ回復してきている現状が嬉しい。小学生のプレーヤーの増減と成長が、中学、高校とに影響する現実を忘れてはいけない。その意味で、今回関東協会が決断された、東北地区被災地4 県の子供たちから徴収する予定だった、日本協会への会費が免除されたことについて感謝申し上げたい。

#### セレクションコミッティ・強化委員会

1. 委員会開催
2. NZU(ニュージーランド学生代表)来日ツアー
3. セレコン委員による試合観戦  
年間を通じて、主に大学、トップイースト、トップリーグの試合を観戦し、人材発掘を実施
4. 関東高校選抜・イーストジャパンHS

#### 社会人委員会

1. 各種大会への実施、参加
  - (1) 第54 回YCAC セブンズ
  - (2) 第50 回東日本都道府県対抗大会開催
  - (3) 第68 回国民体育大会
  - (4) トップリーグ・トップイーストリーグ・関東社会人リーグ・トップチャレンジリーグ
2. 全体会議
  - (1) 社会人委員会の開催(社会人連盟合同会議)
  - (2) 社会人委員長会議
  - (3) 三地域社会人委員長合同連絡会議
3. チームとの意見・情報交換会
4. 社会人連盟との意見・情報交換会
5. 日本協会トップリーグ機関との意見・情報交換会

## 6. レフリー委員会との意見・情報交換会

### クラブ委員会

1. 第21 回全国クラブ大会の主管
2. 第10 回東日本トップクラブリーグの主催(兼、第21 回全国クラブ大会東日本地区予選)
3. 第23 回東日本クラブトーナメント大会の主催
4. 第32 回ラグビーフェスタ2012 イン・スガダイラの主催
5. 第30 回東北クラブ選手権大会の主催
6. 第21 回ラグビーフェスタ2012・イン・ハチマンタイの主催
7. 東日本クラブセブンズ2013 の開催
8. サンケイスポーツ杯第21 回関東学生クラブ選手権大会の主催
9. 第12 回東西学生クラブ対抗試合へ関東代表を派遣
10. 学生クラブ東西交流ラグビーフェスティバル・イン・スガダイラ2013 の主管
11. 2013 東日本マスタース大会
12. 東北クラブ委員長会議の開催
13. 関東クラブ委員長会議の開催
14. クラブ委員会・総務委員会・学生運営委員会の開催

### 女子委員会

1. サニックスワールドユース U18 女子7 人制大会
  2. 関東ユースセレクション
  3. 第64 回関東中学校ラグビーフットボール大会 女子7 人制エキシビジョンマッチ
  4. 関東大学、対抗戦・リーグ戦、選抜大会 女子エキシビジョンマッチ
  5. 第50 回東日本都道府県対抗ラグビーフットボール大会 女子エキシビジョンマッチ
  6. ユース安全対策講習会
  7. ユース選手・高校生女子15 人制合宿
  8. 第68 回国民体育大会(東京都開催)女子7 人制エキシビジョンマッチ
  9. 第24 回関東女子ラグビーフットボール大会
  10. 第7 回ガールズラグビーフェスティバル
  11. 女子三地域代表対抗戦
  12. 第5 回関東地区SEVEN' S IN KUMAGAYA
- <<日本協会、都県協会、高体連関連行事>>
1. 第2 回全国高等学校選抜女子セブンズラグビーフットボール大会
  2. 海老名市ガールズ・ラグビーフェスティバル2013(神奈川県協会主催)
  3. 東京国体機運イベント 初心者講習会& 国体エキシビジョンマッチセレクション
  4. 千葉県ガールズ・ラグビーフェスティバル2013(千葉県協会主催)
  5. KOBELCO CUP 2013
  6. 東京国体機運イベント 第1 回東京都女子ラグビーフェスティバル(東京都協会主催)
  7. 太陽生命カップ2013 第4 回全国中学生ラグビーフットボール大会
  8. 横浜市女子セブンズ大会(横浜市協会主催)
  9. 花園U18 女子セブンズマッチに向けたセレクションマ

ッチ(日本協会主催、高体連主管)

10. 第26 回女子ラグビー交流大会(日本協会主催・関東協会主管)
  11. ユース中学生3 地域交流戦(関西協会主催)
  12. トップリーグ 女子7 人制エキシビジョンマッチ(山梨県協会主催)
  13. 第93 回全国高等学校ラグビーフットボール大会(日本協会主催・高体連)
  14. 横浜市女子セブンズ大会(横浜市協会主催)
- <<東北・関東ユース練習会>> 小学5 年生～中学3 年生

### 大学委員会

1. 各種大会実施
  - (1) 第64 回全国地区対抗 関東1 区、2 区予選実施
  - (2) 関東医歯薬リーグ実施 優勝:昭和大学
  - (3) 第14 回東日本大学セブンズ
  - (4) リーグ戦、対抗戦など公式戦の実施
  - (5) 第35 回関東大学ジュニア選手権
  - (6) 第2 回関東大学春季大会実施
  - (7) 第1 回関東大学オールスターゲーム
2. 諸会議の開催

### 高校委員会

1. 各種大会、予選会実施、全国大会参加
  - (1) ジャパンセブンズ2013 高校の部参加 4 月13 日 東京都:江戸川区陸上競技場
  - (2) 関東高校代表対九州高校代表戦 4 月13 日 九州:福岡
  - (3) 地区大会(北海道、東北、関東、北信越)
  - (4) U16・17 ブロックトレセン・講習会
  - (5) ブロック国体・第67 回国民体育大会予選会
  - (6) 第68 回国民体育大会参加 9 月28 ～10 月3 日 東京都:江戸川区(競技場・臨海)
  - (7) 第93 回全国高校大会参加 12 月27 日—1 月7 日 花園ラグビー場
  - (8) 15 回全国高校選抜大会地区予選会
  - (9) 関東都県対抗戦 平成26 年2 月17・23 日 群馬県桐生市、栃木県佐野市(雪のため中止)
  - (10) 第15 回全国高校選抜大会参加 埼玉県:熊谷ラグビー場
2. 普及指導講習会の開催—ブロック別少人数制大会
3. 第38 回高校ラグビー指導者研修会
4. 第15 回全国高校選抜大会の主管と準備会議の実施
5. 関東高校代表チームの編成と強化遠征試合→ユース代表選考活動
6. 高等専門学校チームとの普及・強化に向けた事業→各種大会への参加、新規大会の企画

### ツアー委員会

1. 海外遠征申請手続き
2. 外国チーム来日許可申請手続き
3. 国際大会への対応

### 広報委員会



1. 関東協会「協会年鑑2013 ～2014 年版」の作成と配布。
2. 関東協会「役員名簿2013 ～2014 年版」の作成と配布。
3. 平成25 年度試合日程メンバー表の作成と一般頒布。
4. 日本協会機関誌(RUGBY FOOTBALL)に関東協会だよりを執筆掲載。
5. 日本協会、関東協会主催・主管ゲームで、各種パンフレット・出版物の販売。
6. 日本協会広報活動への協力。
7. 関東協会ポスターの作成と配布、及び一般頒布。
8. 関東協会ポスターを、JR 東日本首都圏管内各駅への駅貼りの実施。
- 9「. トップリーグ」を主に各種 告知活動を展開。
10. ラグビー普及・振興のための広報・広聴活動。
11. 関東協会「ホームページ」の運用。
12. 支部協会「ホームページ」運営の支援。
13. インターネット上での記録入力。
14. 試合当日の「メンバー表」の一般への無料配布。
15. 報道各社への「プレスリリース」の配信。試合後の記者会見実施。
16. 関東協会主催・主管試合の記録管理。
17. 日本協会主催試合の記録サポート。

#### 観客動員委員会

1. 既存ファンの囲い込みと、新規ファンを開拓
2. 25 年度の活動対象を大学ラグビーに特化
3. 各種プロモーションの実施
4. 後援企業契約「そんぼ24」、「タイセイハウジー」

#### 登録者傷害見舞金審査委員会

1. 各都道府県協会より報告された傷害報告、見舞金請求(診断書)に対し毎月審査委員会を実施。
2. 登録者傷害見舞金制度、関東協会管下分について収支明細及び見舞金支給者名簿を作成し日本協会へ報告。  
\* 当委員会より「日本協会の安全対策委員会 登録者傷害見舞金部門」で部門長1名、委員3名が活動。
3. 審査明細 計346 件12,840,000 円

#### 選手資格審査委員会

日本協会規程、トップリーグ規約、その他の関連する規約に従って審査を行った。

- ①外国人選手の新規登録
- ②トップリーグ選手の移籍手続
- ③トップリーグ以下の社会人選手の移籍手続

#### 規律委員会

1. 競技規則、トップリーグ表彰懲罰規程に準拠した不行跡、不規律の処置
2. シンビンの計数ならびに公開

#### 市町村協会担当

1. 日本協会戦略企画の中核を成す「ラグビーファミリー

を増大させる」という課題の下、全市町村にラグビー協会を設立するミッションに関東協会としての独自の取り組みを行ってきた。日本協会「市町村協会新設補助金」の活用

- 2「. 競技人口の増加」だけでなく、「観客数(ファン)の増加、ラグビーの支援者(関係者・関心者)の増加」までを含む、「するラグビー」「観るラグビー」「支えるラグビー」全ての拡大を目指すことを、2019 年までの中期的計画として取り組んできた。
3. 地域活性化の推進の中核として、全市町村ラグビー協会設立の推進を図る。地方自治体との提携推進、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団など、地域に根付いた多角的なラグビークラブの活性化と拠点づくりを継続的に推進している。

#### 総務法務委員会

1. 関東協会規約その他諸規程の整備
2. 租税公課に対する対応
3. 労務管理の整備
4. 法令遵守(コンプライアンス)の推進
5. 日本協会との組織統合への対応
6. 各委員会間の調整作業

#### 競技委員会

1. 公式戦の日程調整と決定
2. 関東協会主催試合・主管試合の競技運営
3. 競技運営向上施策
4. 競技委員新規登録者発掘と教育

### 関西ラグビーフットボール協会

#### 1. 医務委員会

- ・委員会開催 6 回
- ・日本選手権、大学選手権、全国高校大会他各地域での公式戦での活動実施

#### 2. 総務委員会

- ・委員会開催 14 回

#### 3. レフリー委員会

- ・委員会開催 5 回
- ・レフリーコーチ会議 1 回
- ・研修会開催 2 回
- ・B級認定講習会 3 回(徳島・石川・愛知)
- ・レフリー派遣(各リーグ戦、一宮セブンズ大会、関西クラブ大会 等)

#### 4. 強化・セレクション委員会

- ・強化・セレコン委員会 1 回(2/22)
- ・強化・セレコン委員派遣(TL・リーグ戦各試合)

#### 5. コーチ委員会

- ・トップチームコーチ会議  
(7/13 ホテルクライトン新大阪)
- ・第1回総務部会 I (6/18 関西協会)
- ・強化コーチ養成講習会派遣  
(7/20～ 国立オリンピックセンター)
- ・第2回総務部会(1/27 ホテルクライトン新大阪)
- ・育成コーチブラッシュアップ講習会  
(2/8 ホテルクライトン新大阪)
- ・関西協会コーチ委員長会議  
(3/9 ホテルクライトン江坂)

## 6. 普及育成委員会

### (1) ジュニア部門

- ・部門会議(5回)
- ・第3回全国中学生大会関西地区予選(6/23～24)
- ・関西中学生大会 (7/27～7/29)
- ・関西中学生ジャンボリー (7/27～7/29)
- ・中四国ジュニア大会 (9/1～2)
- ・近畿スクールジュニア交流大会 (11/24)
- ・全国ジュニア近畿ブロック予選 (11/25)
- ・関西スクール新人交流大会 (3/23・24)
- ・関西地区スクールジュニア指導者講習会(3/23)

### (2) ミニラグビー部門

- ・部門会議(10回)
- ・関西ミニジャンボリー大会(淡路島・6/29～30)
- ・ラグビーマガジンカップ(10/19・20)
- ・プロモーション講習会(2/15・16)

### (3) タグラグビー部門

- ・部門会議 6回
- ・「関西タグラグビーフェスティバル」  
琵琶湖 CUP in 長浜ドーム(5/25)
- ・タグラグビーエデュケーター講習会(12/25)
- ・第1回クリスマス CUP 関西小学生ラグラグビー  
チャンピオンシップ(12/26)
- ・コカ・コーラウエストタグラグビー指導者  
講習会(11/10)
- ・サントリーカップ各府県・各ブロック予選

## 7. 安全対策委員会

- ・常任委員会 (10/10・1/23)
- ・安全推進講習会 (2/1 ホテルアウイーナ大阪)

## 8. 社会人委員会

- ・トップウエストリーグ  
Aグループ 9/7～11/23 (優勝:HondaHEAT)  
A1グループ 9/21～11/23 (優勝:ユニチカ)  
Bグループ 9/16～11/24 (優勝:きんでん)  
B1グループ 9/16～11/24 (優勝:三菱電機MLC)
- ・トップウエスト入替戦@JR西日本G  
JR西日本(A-4位) 19-14 ユニチカ(A1-1位) (12/7)  
島津製作所 (A1-6位) 26-43 きんでん(B-1位) (12/7)  
日本新薬(A-4位) 15-10 三菱電機MLC(B1-6位) (12/1)
- ・トップリーグチャレンジシリーズ  
トップチャレンジ2(12月・愛知、福岡、東京)

1位通過:横河武蔵野アトラスターズ  
トップチャレンジ1(1月・東京、大阪、福岡)  
1位:福岡サンックスブルース

### ・トップリーグ入替戦

NTTコム 59-7 横河武蔵野 (2/22 熊谷)  
NTTドコモ 41-29 HondaHEAT (2/15 近鉄花園)  
コカウエスト 22-17 三菱重工相模原 (2/9レバスタ)

## 9. クラブ委員会

- ・第5回近畿リーグ
- ・第25回関西クラブ大会
- ・ブロック委員長会議
- ・関西クラブトップリーグ  
優勝 六甲ファイティングブル
- ・関西クラブトーナメント

## 10. 大学委員会

- ・リーグ委員会開催 2回
- ・ドーピング講習会(6/29)
- ・総会 (7/20 近畿大学)
- ・表彰式 (2/16)

## 11. 高専委員会

- 第45回全国高等専門学校ラグビーフットボール大会  
(1/4～1/9 神戸)
- ・実行委員会 2回(10/8、12/10)
- ・抽選会 (11/30)
- ・代表者会議 (1/3)
- ・反省会(2/1)

## 12. 高校委員会

- ・高校委員会(4/14、9/28、12/26)
- ・第11回関西高校少人数校ラグビー交流大会  
(6/15～16 大阪体育大学)

## 13. 女子委員会

- ・関西女子まつり(5/26 神戸流通大学)
- ・第1回関西女子中学生大会(7/26～28 飛騨市)
- ・フィオーレリーグ(9/29、10/21 京都)
- ・第16回関西大会(9/1～10/27 瑞穂、他)
- ・三地域対抗戦(12/22、1/19 神戸、福岡)
- ・交流会(11/23 江戸川G)
- ・ジャパンウイメンズセブンズ(3/16 瑞穂)

## 14. 広報委員会

- ・TL・リーグ戦各試合への派遣とマッチレポートの作成
- ・関西協会記者懇談会への派遣

## 15. 傷害見舞審査委員会

- ・審査委員会の開催 11回(8月を除く)

## 九州ラグビーフットボール協会

### 1. レフリー委員会

(1)各県委員長会議:

- ①6月15日:長崎 ②12月14日:福岡  
③2月22日:大分 ④副委員長会議2回:福岡

(2)レフリー研修会

- ①九州地区トップレフリー研修会(7月28~31日:久住)  
②九州地区レフリー研修会(8月9~11日:鹿児島)  
③九州地区B級レフリー認定講習会(8月2~4日湯布院)  
④三地域トップレフリー研修会(8月16~18日:菅平)

(3)各県巡回指導研修会(26年1月~3月:各県)

(4)有望レフリー発掘事業(5月~6月:沖縄県)

(5)若手レフリー研修会講師派遣

- 5月:長崎県 7月:熊本県 12月・1月:福岡県

(6)レフリー派遣(各地)

(7)レフリーコーチ及び評価(各地)

(8)コーチ・アセッサー研修会(12月14日:福岡)

(9)レフリー評価委員会(26年2月:福岡)

(10)九州アカデミー研修(各地)

### 2. 社会人委員会

(1)第51回九州セブンズ(木元杯全九州7人制)大会  
4月14~15日:福岡

(2)第33回九州地区国民体育大会(成年の部)  
8月23日~25日:福岡

(3)第42回トップキュウシュウリーグ戦(9月~11月:各地)

(4)トップリーグチャレンジ1・2(12月~26年1月:各地)

(5)トップキュウシュウリーグA・B入替戦(12月15日:福岡)

(6)トップキュウシュウリーグ代表者会議(26年2月:福岡)

### 3. クラブ委員会

(1)各県委員長会議

- 1回目 5月25日:鹿児島、2回目 11月16日:佐賀

(2)第32回九州惑大会(5月25日~26日:鹿児島)

(3)第8回九州トップクラブリーグ(9月~12月:各地)

(4)第39回全九州クラブ・実業団大会

- 11月15日~17日:佐賀  
決勝戦 12月1日:熊本

(5)九州トップクラブリーグ入替戦(Bリーグ)

- 12月15日:福岡

(6)第21回全国クラブ大会

- 12月8日~:各地

### 4. 大学委員会

(1)第52回九州山口医科大学大会

- 5月3日~6日:沖縄県

(2)村上杯九州学生春季リーグ戦(6月:福岡他)

(3)第52回九州商経大学大会(6月:大分)

(4)第21回九州学生リーグ(9月~11月:福岡他)

(5)九州学生リーグジュニア戦(9月~10月:福岡他)

(6)第13回九州地区対抗大学大会(Ⅲ部優勝決定戦)

- 11月16日~19日:鹿児島

(7)九州学生リーグ入替戦(Ⅰ部⇔Ⅱ部、Ⅱ部⇔Ⅲ部)  
12月7日:福岡

(8)各県委員長会議(7月、12月:福岡)

### 5. 高専委員会

(1)第22回九州高専チームリーグ講習会  
3月30日~4月1日:八代

(2)第22回九州高専新人大会

- 5月11日~12日:久留米

(3)九州高専委員長会議(11月8日:熊本)

(4)第50回九州高等専門学校大会

- 11月9日~12日:熊本

### 6. 高校委員会

(1)交流試合 東日本高校代表 vs 九州高校代表  
4月13日:福岡

(2)サニックス2013ワールドユース交流大会

- 4月28日~5月5日:福岡

(3)第66回全九州高等学校大会

- (九州高体連主催) 6月15日~18日:長崎

(4)九州高体連ラグビー専門部委員長会議

- 6月15日:長崎

(5)夏季九州高校1・2年生一次強化指導会及び  
U17全国高校合同チーム大会直前合宿

- 7月6日~8日:湯布院

(6)第33回九州地区国民体育大会(少年の部)

- 8月23日~25日:福岡

(7)第93回全国高校選手権大会各県予選(9月~:各県)

(8)第5回九州U16・U17交流会

- 12月14日~15日:福岡

(9)サニックス2014ワールドユース交流大会 予選会

- 26年1月2日~5日:福岡

(10)第36回木元杯全九州高校新人大会

- 26年2月22日~26日:大分

(11)U17九州選抜候補合宿

- 26年3月15日~17日:湯布院

(12)第15回九州高校10人制大会

- 26年3月22日~23日:鹿児島

(13)その他強化合宿(夏・春)・指導会・各県委員長会議

### 7. コーチ委員会

(1)各県委員長会議 1回目(7月14日:福岡)

- 2回目(平成26年1月26日:福岡)

(2)九州協会トップコーチ会議

- 兼強化コーチブラッシュアップ研修会(7月14日:福岡)

(3)育成コーチ養成講習会(11月23日~24日:広島)

(4)ブラッシュアップ講習会

- 各県の要請により随時開催:4県

(5)新スタートコーチ養成講習会

- 各県の要請により随時開催:4県

### 8. 中学委員会

(1)各県委員長会議

- ①第1回 4月:福岡

- (中学校・ジュニア大会準備、打合せ)
- ②第2回 8月:鯛生  
(中学校・ジュニア大会反省会、ブロック大会準備)
- ③第3回 10月:熊本  
(ブロック大会反省会、全国大会強化合宿準備)
- (九州 Jr インストラクター会議  
10月12日～14日:熊本)
- (3)ジュニアラグビー指導者講習会(随時実施:各県)
- (4)第35回新島杯九州ジュニアラグビー大会  
8月2日～4日:鯛生
- (5)第26回新島旗九州中学校大会  
8月4～6日:鯛生
- (6)第14回ジュニアラグビー九州ブロック大会  
10月12日～14日:熊本
- (7)第15回九州ジュニアラグビージャンボリー大会  
福岡ジャンボリー(26年1月25日～26日)  
長崎ジャンボリー(26年2月22日～23日)

## 9. 普及育成委員会

- (1)会議・研修会
  - ①普及育成担当者研修会委員会  
4月20日～21日:福岡
  - ②タグ部門長会議(兼サントリーカップ打合せ)  
6月15日～16日:長崎
  - ③タグラグビーエデュケーター講習会  
8月10日～11日:鹿児島
  - ④九州MRR認定講習会  
8月23日～25日:熊本
  - ⑤各県委員長会議  
26年1月18日～19日:福岡
  - ⑥ラグビースクールプロモーション講習会  
26年2月15日～16日:福岡
- (2)ミニ・ラグビー
  - ①第40回九州少年ラグビー交歓会  
8月23日～25日:熊本
  - ②第15回西九州交流大会(9月22日:長崎)
  - ③第15回東九州交流大会(11月24日:宮崎)
  - ④第14回南九州交流大会(26年1月19日:鹿児島)
  - ⑤第6回沖縄県ミニラグビー交流大会(10月6日:沖縄)  
トライドリームカップ(11月2日～4日:長崎)
- (3)タグラグビー
  - ①タグフェスタ  
佐賀 6月29日:佐賀  
熊本 7月15日:熊本  
九州 9月15日:宮崎  
鹿児島 10月14日:鹿児島  
福岡(WITHアビスパ福岡)10月26日:福岡  
大分 10月27日:大分  
沖縄(スポレク)10月27日:沖縄  
長崎(大村)11月17日:長崎  
宮崎 2月22日:宮崎  
西部ガスタグフェスタ 3月22日:福岡
  - ②タグラグビーティーチャー研修会  
熊本 7月29日:熊本

- 長崎 8月2日:長崎
- 大分 8月4日:大分
- 宮崎 8月5日:宮崎
- 沖縄 8月6日:沖縄
- 福岡 8月8日:福岡
- 鹿児島 8月9日:鹿児島
- 佐賀 8月20日:佐賀
- ③第8回九州女子タグラグビー大会  
12月15日:熊本
- ④第10回サントリーカップ全国大会予選  
宮崎県 11月9日:宮崎  
大分県 11月16日:大分  
熊本県 11月17日:熊本  
佐賀県 11月23日:佐賀  
福岡県 11月30日:福岡  
長崎県 12月1日:長崎  
鹿児島県 12月7日:鹿児島  
沖縄ブロック 1月11日～12日:沖縄  
九州ブロック 2月2日:佐賀

## 10. 安全対策委員会

- (1)安全推進講習会(4月～5月・各県)  
九州協会主催安全推進講習会(5月19日:福岡)
- (2)安全推進伝達講習会(26年1月:福岡)
- (3)九州安全対策委員長会議(3月1日:福岡)
- (4)九州メディカル・安全対策委員会合同総会(同上)
- (5)第28回九州地区高専リーダー講習会研修  
26年3月30日:熊本

## 11. 強化・セレコン委員会

- (1)7人制強化に伴う各県指導者講習会(5月:福岡)
- (2)トップキュウシュウリーグ A、九州学生リーグ等視察  
(9～12月:各地)
- (3)強化・セレコン委員会(九州代表セレクト会議)  
(26年1月:福岡)

## 12. 総務委員会

- (1)会員名簿の作成(8月)
- (2)主要スケジュール・メンバー表の作成、配布(随時)
- (3)九州及び各県主催公式試合の編成・発行(10月)
- (4)各新聞における関係記事のスクラップ(随時)

## 13. 広報委員会

- (1)日本協会機関誌「協会だより」への出稿記事作成・調整(年5回)
- (2)九州協会ホームページの維持・更新(随時対応)  
九州協会HPツイッターでの各種情報提供
- (3)トップリーグ共同記者会見の開催(8月28日:福岡)
- (4)各県広報委員長会議開催(9月7日:福岡)
- (5)各メディアへの情報発信、情報交換(随時)

## 14. メディカル委員会

- (1)公式戦へのマッチドクター派遣1,500試合  
4月～26年3月:各県

- (2) トップリーグ・メディカルコントロール 16 試合(各地)
- (3) 第1回総務委員会開催(9月1日・福岡)
- (4) 第3回ラグビードクターフォーラム開催  
26年2月15日:福岡
- (5) 25年度九州総会WC2019  
医療従事者ネットワーク会議開催  
26年3月2日:福岡
- (6) 安全対策委員会と合同総会  
及び第2回総務委員会開催 26年3月2日:福岡
- (7) 日本代表各チーム帯同医師派遣協力  
高校日本代表 伊・仏遠征(井上貴司医師)  
26年3月 : イタリア・フランス

## 15. 女子委員会

- (1) 木元杯九州セブンズエキシビジョン参加  
4月14日 : 福岡
- (2) サニックスラグビーユース大会エキシビジョン参加
- (3) 女子委員会開催(4月21日、26年1月19日 :福岡)
- (4) U15 ユーストライアウト(5月12日 : 福岡)
- (5) U15・U18 サマーキャンプ 8月22日～25日:菅平
- (6) U15 全国大会出場(9月14日～15日 : 水戸市)
- (7) 第3回九州ガールズフェスタ(12月15日:熊本)
- (8) U14 三地域交流大会(12月1日 : 堺市)
- (9) 日本代表候補強化合宿参加(12月1日:神戸市)
- (10) 三地域対抗戦 対関東戦(12月15日 : 水戸市)
- (11) 三地域対抗戦 対関西戦(26年1月19日:福岡)
- (12) サニックス ガールズセブンズキャンプ  
26年1月15日～16日 : 福岡

## 15. 登録者傷害見舞金制度

### <登録状況>

- ・登録人数 16,296人(-305人)  
グループでは「大学」「ジュニアクラブ」「女子」増加  
他は減少  
県別では「大分」「鹿児島」「沖縄」が増加  
他は減少
- ・登録チーム数 474チーム(5チーム減少)
- ・登録料 5,894千円(+343,500円)

### <傷害見舞金>

- ・査定委員会を毎月実施
- ・発生状況・支給状況などを分析報告
- ・受傷事故多発チームへのヒアリング実施

以上